



ディスクロージャー誌

平成26年3月期 営業のご報告

2014



CONTENTS

ちばぎんグループのご紹介	3
頭取インタビュー	5
「リテール・ベストバンク」グループを目指し、 さらにお客さまに信頼される千葉銀行へ	
新中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」	8
平成26年3月期 業績のご報告	9
資産健全化への対応と再生支援	11
連結財務諸表(要約版)	13
単体財務諸表(要約版)	14
地域密着型金融の推進への取組み状況について	15
法人・個人事業主のお客さまへ	21
個人のお客さまへ	23
金融犯罪防止への取組み	25

千葉銀行のプロフィール (平成26年3月31日現在)

設 立	昭和18年3月
拠 点	国内 177店舗(本支店156、特別出張所5、出張所14、仮想店舗2) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 41,197か所 (うちコンビニATM[E-net]12,915か所、セブン銀行との提携による共同ATM 17,866か所、ローソンとの提携によるATM 10,149か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 2駐在員事務所(上海、シンガポール)
従 業 員 数	4,247人
総 資 産	11兆9,541億円
預 金	10兆1,218億円
貸 出 金	8兆830億円
資 本 金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結13.69% 単体13.04%



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。このうち、財務データと自己資本の充実の状況等に係る事項(パーゼルⅢ 第3の柱)は、別冊に記載しています(別冊については、当行のホームページをご覧ください)。諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

トピックス	28
社会貢献活動	29
お客さま満足度向上に向けた取組み	31
人材育成の強化	32
コンプライアンス体制	33
コーポレート・ガバナンス	35
リスク管理体制	37
主要な業務内容	43
役員及び組織	44
ネットワーク等のご案内	
店舗・キャッシュコーナー一覧	45
主な手数料一覧	53

ちばぎんグループのCSR

ちばぎんグループにおける取組み

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

グループ CSR 活動方針

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、金融仲介機能の発揮等の本業に加え、誠実かつ公正な企業活動、気候変動等の環境問題など地域社会を取り巻くさまざまな課題解決に向けた活動等に、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って、積極的に取り組んでまいります。

そして、これら当行グループの取組みの情報開示をつうじ、ステークホルダーの皆さまとのより良い関係作りに注力いたしますとともに、「新たな地域社会の姿」を皆さまと描いてまいります。

ちばぎんグループのCSRコンセプト

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、CSR活動に積極的に取り組んでまいります。

お客さま満足度(CS)の向上・コンプライアンス

金融仲介機能の発揮 (本業)

地域密着型金融の推進、金融円滑化への対応等、地域への円滑な資金供給に注力してまいります。

地域社会への貢献 (社会貢献活動)

「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開してまいります。

人材育成の 強化

役職員一人ひとりが、お客さまのニーズに的確にお応えできる意識・スキルを身に付けてまいります。

ちばぎんグループのご紹介

ちばぎんグループは、当行のほか子会社13社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しております。



平成26年4月、グループ一体経営を迅速かつ効果的に実践していくため、全てのグループ子会社に対する「ちばぎんグループ」の持分を100%としました。

※平成26年7月1日より、社名を「ちばぎんアカウンティングサービス(株)」から「ちばぎんキャリアサービス(株)」に変更

千葉銀行

(平成26年7月1日現在)

- 国内 本支店156 特別出張所5 出張所15 仮想店舗2 両替出張所3
- 米州 ニューヨーク支店
- 欧州 ロンドン支店
- アジア 香港支店 上海駐在員事務所 シンガポール駐在員事務所

グループ会社

(平成26年7月1日現在)

●証券・カード・リース事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎん証券株式会社* 〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館2階 TEL:043-222-1141	証券業務	設立: 昭和19年3月27日 資本金: 4,374百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんジェーシービーカード株式会社 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-15-11 TEL:043-225-2611	クレジットカード、 信用保証業務	設立: 昭和57年11月1日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 51%
ちばぎんディーシーカード株式会社 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-15-11 TEL:043-225-8411	クレジットカード、 信用保証業務	設立: 平成元年2月16日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 40% 当行子会社等議決権比率: 60%
ちばぎんリース株式会社 〒262-0025 千葉市花見川区花園2-1-22 TEL:043-275-8001	リース業務	設立: 昭和61年12月15日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 51%

*ちばぎん証券株式会社の営業店舗(全16店舗):本店営業部、銚子支店、茂原支店、木更津支店、市原支店、旭支店、八千代支店、成田支店、東金支店、鎌ヶ谷支店、津田沼支店、館山支店、東京支店市川営業所(以上千葉県)、東京支店(東京都)、南つくば支店(茨城県)、東信支店(長野県)。

●調査・コンサルティング事業

会社名	主な業務内容	会社概要
株式会社ちばぎん総合研究所 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 TEL:043-207-0621	情報・調査業務、 コンサルティング業務	設立: 平成2年2月28日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 30% 当行子会社等議決権比率: 70%
ちばぎんキャピタル株式会社 〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-4 日本興亜千葉ビル2階 TEL:043-248-8822	株式公開・上場などに関する コンサルティング業務	設立: 昭和59年5月29日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 30% 当行子会社等議決権比率: 70%
ちばぎんアセットマネジメント株式会社 〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-13-7 TEL:03-5638-1450	投資助言業務	設立: 昭和61年3月31日 資本金: 200百万円 当行議決権比率: 35% 当行子会社等議決権比率: 65%
ちばぎんコンピューターサービス株式会社 〒266-0032 千葉市緑区おゆみ野中央6-12 TEL:043-292-8881	ソフトウェアの開発業務、 計算受託業務	設立: 昭和55年4月1日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 46% 当行子会社等議決権比率: 54%

●人材派遣・業務受託事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎんキャリアサービス株式会社 〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-4 日本興亜千葉ビル4階 TEL:043-244-3211	経理総務受託業務、 人材派遣業務	設立: 平成元年12月22日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんハートフル株式会社 〒261-0011 千葉市美浜区真砂4-1-10 TEL:043-270-7341	事務代行業務	設立: 平成18年12月1日 資本金: 10百万円 当行議決権比率: 100%
株式会社 総武 〒262-0025 千葉市花見川区花園1-7-12 TEL:043-276-5121	千葉銀行用店舗・厚生施設 の賃貸・保守・管理、調度品・ 消耗品等の調達・販売業務	設立: 昭和34年9月7日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%

●信用保証・債権管理事業

会社名	主な業務内容	会社概要
ちばぎん保証株式会社 〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 TEL:043-247-5770	信用保証業務、 集金代行業務	設立: 昭和53年5月1日 資本金: 54百万円 当行議決権比率: 45.63% 当行子会社等議決権比率: 54.37%
ちば債権回収株式会社* 〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 TEL:043-246-5711	債権管理回収業務	設立: 平成13年10月1日 資本金: 500百万円 当行議決権比率: 100%

*平成26年7月28日より、本社を「千葉市中央区栄町」から「千葉市稲毛区稲毛東」に移転



松澤 千晶さん(インタビュアー)

「日経CNBC」「TBSニュースバード」等のキャスターを経て、フリーアナウンサーとして活躍中。現在「J:テレ スタイル」等に出演。



取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任、平成21年3月取締役頭取に就任。

「リテール・ベストバンク」グループを目指し、さらにお客さまに信頼される千葉銀行へ

明るさが見えてきた千葉県の経済

松澤：まず、千葉県経済の現状についてお聞かせください。

頭取：県内の景気は個人消費に加えて住宅建設、設備投資など幅広い分野で順調に回復しています。また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、先行きへの期待感も高まっています。こうしたなか、成田空港では、年間発着能力の拡大やLCC専用ターミナルの整備が進行中であるほか、圏央道の整備も進んでいます。昨年開通した木更津東IC-東金JCT間の通行量は想定を大きく

上回っており、レジャーやビジネスで新たな人の流れが生まれています。今年度中に、さらなる延伸も予定されています。

松澤：活発なインフラ投資によって、ますます便利で魅力ある土地として千葉県のイメージアップにつながることが期待されますね。

頭取：そうですね。こうした動きを反映して、県内の地価は下げ止まりつつあり、一部では上昇する動きも出てきています。またここ数年、幕張のショッピングモールや木更津・酒々井のアウトレットパークなど、大型商業施設の開業が続きました。これらの地域を中心に、雇用の

改善も進んでいます。

さらに、東日本大震災以降減少していた千葉県の人人口も、平成26年4月に前年同月比で増加に転じました。今後も県内各地で大規模な住宅開発が進むことから、人口増加も期待できると考えています。

平成26年3月期決算について

松澤：県の経済が活気を取り戻しつつあるなかで、千葉銀行の平成26年3月期の決算はいかがでしたでしょうか。

頭取：貸出金は前期末比1,709億円増加し8兆830億円、預金は前期末比4,850億円増加し10兆1,218億円となり、ともに順調に増加しました。これにより、連結経常利益が前期比54億円増加の782億円となりました。さらに、連結当期純利益は前期比22億円増加の464億円と5期連続で増益となっています。また、連結総自己資本比率は13.69%となり、引き続き高い健全性を維持しています。

新中期経営計画で攻めの姿勢へ

松澤：今期より新たな中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」がスタートしましたが、そのねらいについて教えてください。

頭取：この中期経営計画の名称には二つの意味が込められています。一つはお客さまにとって「ベスト」な銀行になるという意味です。常にお客さまの立場に立ち、より便利で安全なサービスを提供していきます。もう一つの「2020」という言葉には、中長期的な将来への備えを重視するという意味を込めました。少子高齢化やグローバル化の進展といった課題に対し、いち早く対応を進めていきます。2020年までに、

個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループとなることを目指していきます。

松澤：戦略の特色は何ですか？

頭取：デフレ経済からの脱却が進んでいることを踏まえ、千葉県という良好なマーケットにおいて、攻めの姿勢を一層明確にしていきます。そして、「新たな企業価値の創造」「人材育成の一層の充実」「持続可能な経営態勢の構築」という3つの主要課題に取り組んでまいります。

松澤：具体的には、どのような施策に取り組んでいくのでしょうか。

頭取：金融機関として、資金ニーズに積極的に対応していくことはもちろんですが、それに加えて、お客さまの事業や暮らしをよりよいものにしていくためのご提案に力を入れていきます。例えば、グローバル化が進むなかで、お客さまの海外進出のニーズは着実に高まっています。当行では、既に地銀トップクラスの海外拠点を持っており、さまざまなサポートをご提案していますが、こうしたネットワークやノウハウをさらに拡充していきます。

松澤：地域金融機関として、力を入れていく取り組みはありますか。

頭取：地域における情報のコーディネーターとしての機能を高めたいと考えています。当行には、地域の幅広いお客さまとのお取引のなかで、さまざまな情報が集まってきますので、県内への企業誘致や地域開発などをつうじ、こうした情報を新たなビジネスや賑わいの創出に生かしていきたいと考えています。

松澤：個人のお客さまに対してはいかがですか。

頭取：まず第一に、サービスの品質を高め、お客さまに「当行を選んでよかった」と感じていただける銀行を目指してまいります。

また、事業承継や相続など、高齢化社会の進展を見据えた業務への取組みを強化していきます。当行では、昨年、他地銀に先駆けて「ちばぎん教育資金贈与専用口座」の取扱いを開始しましたが、おかげさまで、高い評価をいただいています。今年4月には、高齢者の皆さまの資金ニーズにお応えするため、ご自宅を担保に一定の枠内で随時お借り入れができる「ちばぎんリバースモーゲージ」の取扱いも始めました。

松澤：人材育成にはどのように取り組まれていますか。

頭取：人材育成は、金融機関にとって極めて重要であり、この中計でも主要課題に掲げています。あらゆる業務でより高度なご提案が求められており、専門的な知識を持つ人材を育てていくことが鍵になると考えています。

また、女性の活躍を推進していくことも大切です。当行では、これまでも、女性を営業現場で積極的に登用しており、男性を上回る営業実績を挙げたり、支店長などの管理職を務めている女性もたくさんいます。また、最近では「女性活躍サポートチーム」を立ち上げました。こうした取組みをつうじて、職員やこれから当行を目指す女性にとって、働きがいのある職場にしていきたいと考えています。

地域社会とともに歩む千葉銀行

松澤：千葉銀行ではさまざまな地域貢献活動を行っていると同いました。具体的な活動内容をお聞かせください。

頭取：ちばぎんグループでは、「グループCSR活動方針」のもと、地域のお客さまへの円滑な資金供給を始めとした幅広い金融サービスを提供し、地域経済の活性化に貢献しています。これに加え、「未来を育む」をキーワードに「ひと」「環境」「産業」を育成する活動を積極的に実施しています。今年3月には東京日本橋に新築した「室町ちばぎん三井ビルディング(コレド室町3)」内に入場無料のアートスペース「ちばぎんひまわりギャラリー」を開設しました。また、今年で20回目となるJリーグプレシーズンマッチ「ちばぎんカップ」の開催など、文化・スポーツ活動の支援にも継続的に取り組んでいます。

昨年には、創立70周年記念事業として、お子さまも楽しく学べる「ちばぎん金融資料室」を開設しました。さらに、新たに設立した「ちばぎんみらい財団」が中小企業従業員の海外視察派遣や県内幼稚園でのオーケストラ公演などの事業を開始しました。

また、「ひまわりベンチャー育成基金」をつうじた助成金の交付や「学生版ビジネスアイデアコンテスト」の開催、千葉大学・千葉工業大学と連携した「ちばぎん・研究開発助成制度」の創設など、創業や新規事業へのチャレンジを支援する取組みを実施しています。

千葉県は都市化が進んでいるだけでなく、気候は温暖で、豊かな自然に恵まれています。空港やアクアラインなどの充実した交通インフラがあり、さらには重工業から農業・漁業まで幅広い産業を持つ地域です。千葉銀行ではその魅力を県内外に向けて積極的に発信し、さらなる活性化につなげることで、千葉県の飛躍に向け、その一翼を担っていきたいと考えています。

第12次中期経営計画をスタートさせました。

ベストバンク2020

価値創造の3年

2014.4.1～2017.3.31

「お客さま第一主義」により最高の価値を提供するとともに、
攻めの営業を徹底し、「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

「価値創造の3年」で取り組む課題

新たな 企業価値の創造

- お客さまの事業の成長や経営課題の解決をサポートします。
- ITの活用やチャネル・店舗ネットワークの充実により、お客さまの利便性を高めます。

人材育成の 一層の充実

- 高い専門性を持つ人材を育成します。
- 女性や中高年職員の活躍を推進するとともに外部人材の積極的登用を図ります。

持続可能な 経営態勢の構築

- 持続的な成長に向け、業務の生産性向上を図ります。
- リスク管理態勢やコンプライアンスを強化します。

「価値創造の3年」で到達すべき目標

連結当期純利益
500億円

連結ROE
6%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
9兆円程度

預金残高
11兆円程度

グループ預かり資産残高
2兆4千億円程度

2020年(6年後)に目指す姿

連結当期純利益
600億円

連結ROE
7%程度

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
10兆円程度

預金残高
12兆円程度

グループ預かり資産残高
3兆円程度

平成26年3月期 業績のご報告

平成26年3月期は、連結経常利益が前期比54億円増加の782億円となりました。また、連結当期純利益は前期比22億円増加の464億円と5期連続での増益となりました。

貸出金は、前期末比1,709億円増加し8兆830億円となりました。そのうち、中小企業向け貸出が前期末比939億円増加、住宅ローンが994億円増加しました。

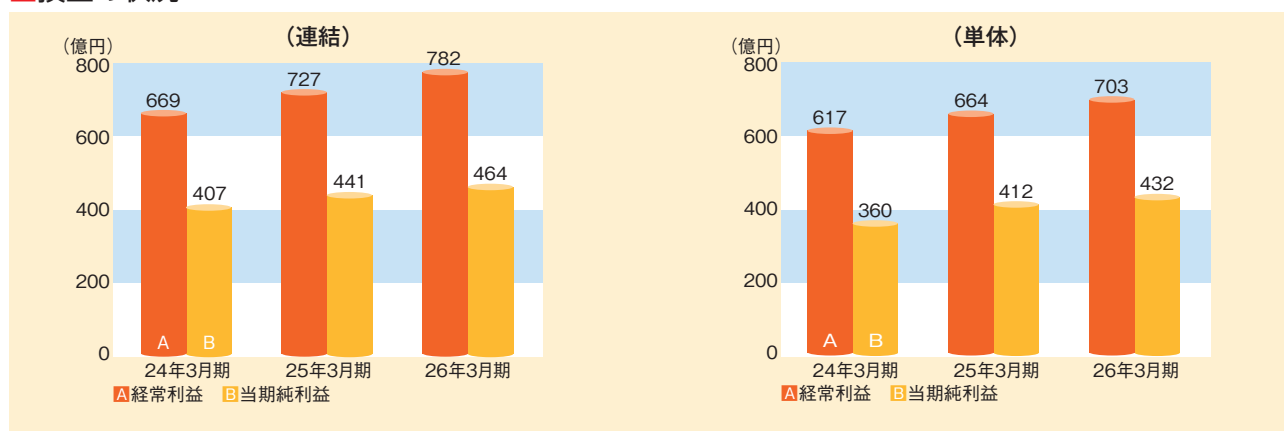
預金は、個人預金の増加などにより前期末比4,850億円増加し10兆1,218億円となりました。

また、投資信託の販売額は前期比850億円増加の2,525億円となりました。

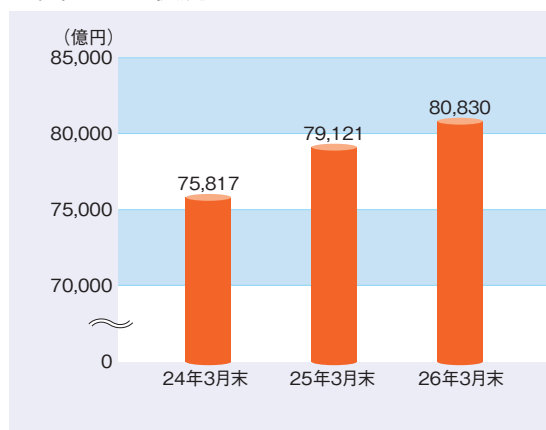
総自己資本比率は、連結で13.69%、単体で13.04%となりました。

なお、ROEは6.13%、OHRは55.93%となりました。

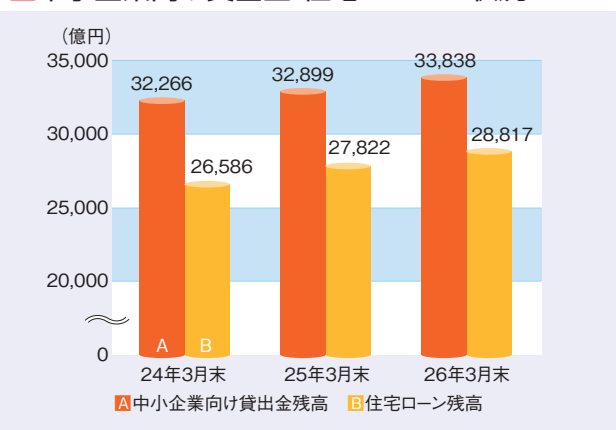
■ 損益の状況



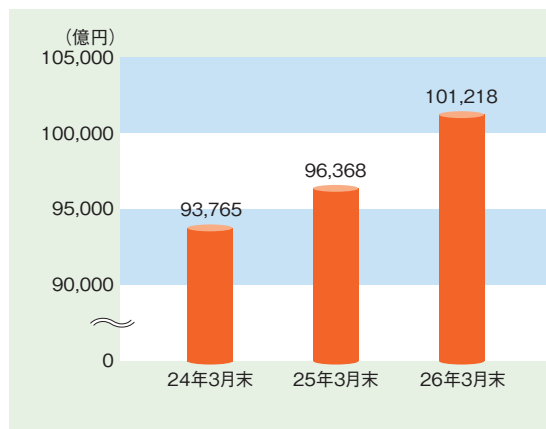
■ 貸出金の状況



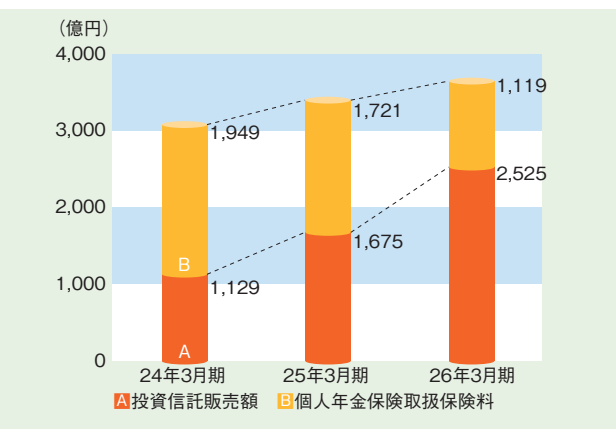
■ 中小企業向け貸出金・住宅ローンの状況



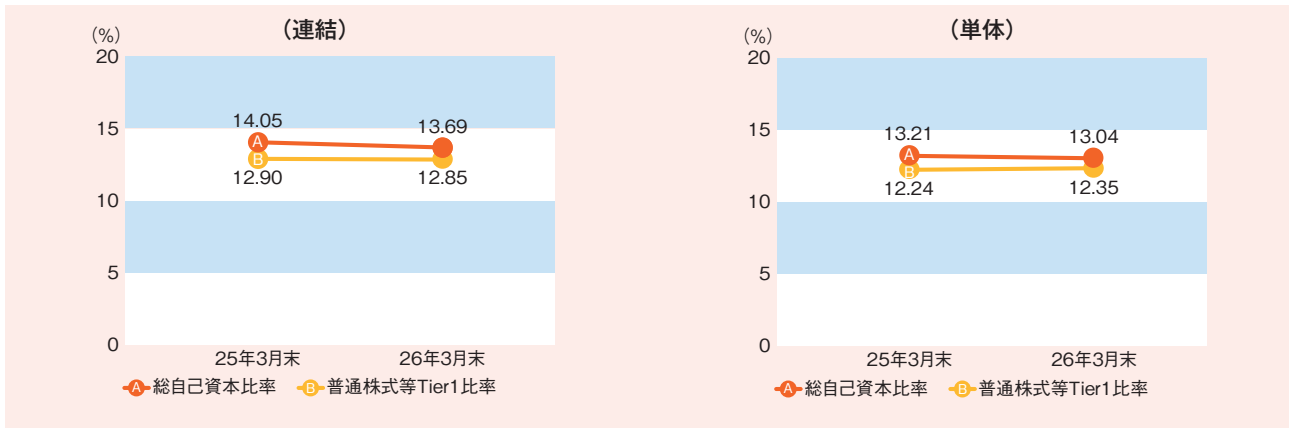
■ 預金の状況



■ 投資型金融商品の状況



■自己資本比率(バーゼルⅢ)の状況



用語解説

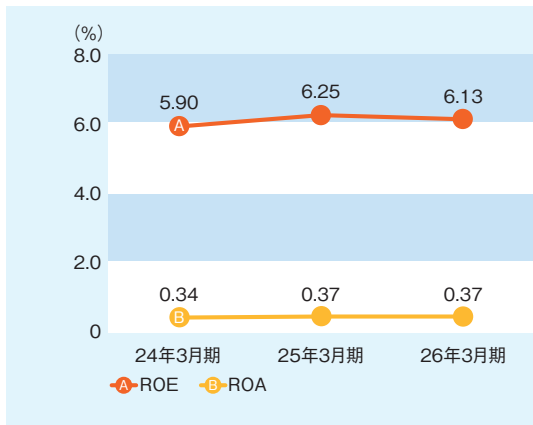
バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合(最低水準)以上持つように義務づけています。

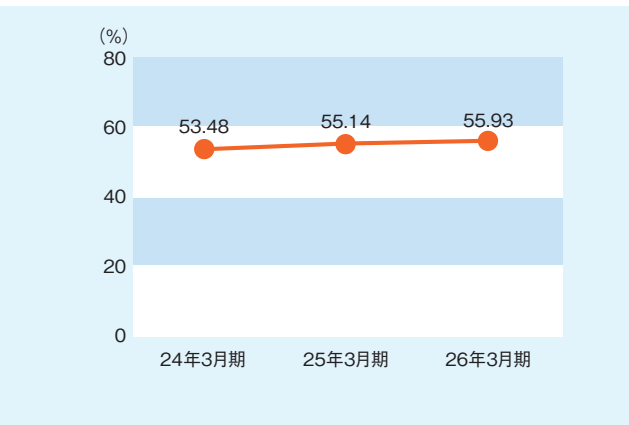
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められました。

■ROE、ROA



■OHR



用語解説

ROE、ROA

ROEとは「当期純利益」を「期首純資産の部と期末純資産の部合計÷2」で除したもので、資本の効率性を示すものです。また、ROAとは「当期純利益」を「総資産の平均残高」で除したもので、資産の運用効率を示すものです。

OHR(オーバー・ヘッド・レシオ)

「経費」を「業務粗利益(一般事業会社では売上高総利益に相当)」で除したもので、数値が低いほど高い効率性・生産性を有することを示しています。

資産健全化への対応と再生支援

資産健全化への対応

当行では、不良債権の適切な処理、不良債権の新規発生防止、取引先の財務改善支援等により、常に資産の健全性の維持・向上に努めています。

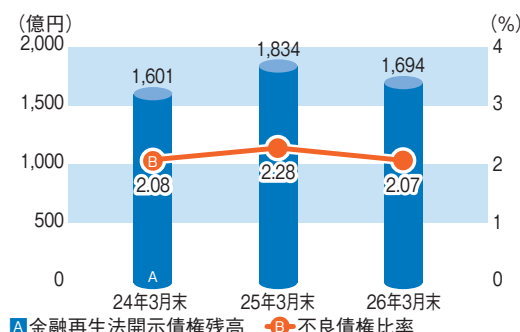
不良債権とは、金融機関が有している貸出などの債権のうち、企業倒産や業績不振などのため、元本や利息の回収に懸念のある債権を指しています。

貸出金等からの利息収入は、銀行の収益の根幹であります。しかし、貸出金の回収が困難になると、銀行の財務内容に大きな影響を及ぼすことになりかねません。そのため審査体制や信用リスク管理体制の整備・充実を進めています。

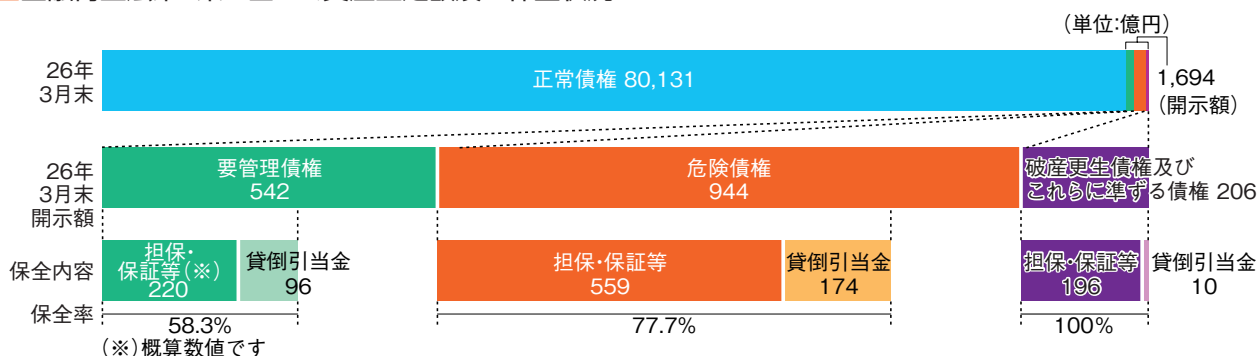
平成26年3月末時点の金融再生法開示債権残高は1,694億円となり、不良債権比率は2.07%となっています。

引き続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会等の外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

不良債権の推移



金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



自己査定と債務者区分

資産の自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することです。貸出金をはじめとする資産を、その信用力に応じて、「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5つに区分しています。なお、「要注意先」の中で、貸出条件を緩和している先などを「要管理先」として区分しています。

債務者区分

正常先	業況良好かつ財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者
要注意先	赤字決算など、業況が低調・不安定になるなど今後の管理に注意を要する債務者
破綻懸念先	現状経営破綻の状態にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者
実質破綻先	法的、形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻の状態に陥っている債務者
破綻先	破産、清算、会社整理、会社更生、民事再生などの事由により経営破綻の状態に陥っている債務者

不良債権の処理

当行はこれまで、厳格な自己査定結果に基づき、各決算期毎に償却・引当等、適切な不良債権処理を行ってきました。なお、要管理先及び破綻懸念先債権のうち大口先に対しては、DCF法*による貸倒引当金の算定を行っています。

また、貸倒引当金については、「破綻先債権」「実質破綻先債権」は担保等で保全されていない債権額の全額、「破綻懸念先債権」は原則として過去の貸倒実績率に基づき算定した予想損失額を計上しています。担保・保証に引当金を加えたもので算定した保全率は、金融再生法開示債権ベースで74.2%と高い水準を確保しており、今後の損失発生懸念は限定的なものとなっています。

※DCF法：債権の元本の回収及び利息の受取に係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができる債権について、当該キャッシュ・フローを当初の約定利率で割り引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法です。

不良債権の開示

不良債権の開示には、「銀行法に基づくリスク管理債権(以下、リスク管理債権)」と、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)に基づく資産査定による開示債権(以下、金融再生法開示債権)」とがあります。

なお、リスク管理債権は貸出金のみを開示対象としているのに対し、金融再生法開示債権は、要管理債権を除き、貸出金以外の支払承諾見返、未収利息、外国為替などを含んでいます。

リスク管理債権

リスク管理債権は、自己査定の破綻先を「破綻先債権」、実質破綻先と破綻懸念先を「延滞債権」、要注意先のうち3カ月以上延滞しているものについて「3カ月以上延滞債権」、貸出条件を緩和しているものについて「貸出条件緩和債権」として計上する方法をとっています。

■リスク管理債権(単体) (単位：億円)

	平成25年3月末	平成26年3月末
破綻先債権額	29	25
延滞債権額	1,138	1,122
3カ月以上延滞債権額	22	8
貸出条件緩和債権額	640	534
合計	1,831	1,690

■リスク管理債権(連結) (単位：億円)

	平成25年3月末	平成26年3月末
破綻先債権額	27	21
延滞債権額	1,124	1,099
3カ月以上延滞債権額	22	8
貸出条件緩和債権額	641	534
合計	1,815	1,663

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、自己査定の破綻先・実質破綻先を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、破綻懸念先を「危険債権」、要管理先のうち3カ月以上延滞債権または貸出条件緩和債権に該当するものを「要管理債権」として開示しています。

■金融再生法開示債権(単体) (単位：億円)

	平成25年3月末	平成26年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	201	206
危険債権	969	944
要管理債権	663	542
合計	1,834	1,694
正常債権	78,401	80,131

用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

連結財務諸表(要約版)

■連結貸借対照表(要約版)

(単位：百万円)

科目	平成25年3月末	平成26年3月末
(資産の部)		
現金預け金	442,958	749,388
コールローン及び買入手形	227,511	399,772
買現先勘定	29,994	34,995
債券貸借取引支払保証金	—	2,043
買入金銭債権	24,778	24,453
特定取引資産	285,577	275,939
金銭の信託	41,190	43,794
有価証券	2,174,866	2,180,202
貸出金	7,886,033	8,061,697
外国為替	6,386	6,248
その他資産	92,614	87,594
有形固定資産	98,639	102,786
無形固定資産	10,621	10,987
退職給付に係る資産	—	5,218
繰延税金資産	14,513	6,779
支払承諾見返	93,586	81,866
貸倒引当金	△ 55,531	△ 50,142
資産の部合計	11,373,741	12,023,627
(負債の部)		
預金	9,628,118	10,111,879
譲渡性預金	298,512	383,960
コールマネー及び売渡手形	54,172	103,949
債券貸借取引受入担保金	74,402	83,248
特定取引負債	30,352	24,074
借入金	280,672	291,989
外国為替	358	930
社債	20,000	10,000
その他負債	127,911	128,806
退職給付引当金	19,490	—
退職給付に係る負債	—	18,324
役員退職慰労引当金	199	217
睡眠預金払戻損失引当金	1,850	2,035
ポイント引当金	388	412
特別法上の引当金	15	22
繰延税金負債	1,225	2,565
再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,157
支払承諾	93,586	81,866
負債の部合計	10,644,497	11,257,439
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
利益剰余金	401,813	437,645
自己株式	△ 7,581	△ 17,581
株主資本合計	661,435	687,267
その他有価証券評価差額金	51,396	59,757
繰延ヘッジ損益	△ 1,167	23
土地再評価差額金	9,983	9,834
退職給付に係る調整累計額	—	866
その他の包括利益累計額合計	60,212	70,482
新株予約権	277	374
少数株主持分	7,317	8,064
純資産の部合計	729,243	766,187
負債及び純資産の部合計	11,373,741	12,023,627

■連結損益計算書(要約版)

(単位：百万円)

科目	平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで
	平成25年3月期	平成26年3月期
経常収益	222,704	217,995
資金運用収益	141,545	137,503
信託報酬	1	2
役務取引等収益	42,120	46,156
特定取引収益	2,391	3,196
その他業務収益	6,344	5,941
その他経常収益	30,302	25,195
経常費用	149,945	139,794
資金調達費用	11,234	11,052
役務取引等費用	15,723	15,945
特定取引費用	3	—
その他業務費用	841	3,228
営業経費	88,943	88,775
その他経常費用	33,199	20,792
経常利益	72,759	78,201
特別利益	26	0
固定資産処分益	24	0
金融商品取引責任準備金取崩額	2	—
特別損失	755	980
固定資産処分損	569	730
減損損失	185	250
税金等調整前当期純利益	72,030	77,220
法人税、住民税及び事業税	26,864	26,834
法人税等調整額	119	3,003
法人税等合計	26,984	29,837
少数株主損益調整前当期純利益	45,046	47,382
少数株主利益	894	944
当期純利益	44,152	46,438

単体財務諸表(要約版)

■貸借対照表(要約版)

(単位：百万円)

科目	平成25年3月末	平成26年3月末
(資産の部)		
現金預け金	442,128	748,133
コールローン	224,011	399,772
買現先勘定	29,994	34,995
債券貸借取引支払保証金	—	2,043
買入金銭債権	15,294	14,346
特定取引資産	284,594	273,668
金銭の信託	36,890	38,594
有価証券	2,176,011	2,178,930
貸出金	7,912,140	8,083,049
外国為替	6,386	6,248
その他資産	41,098	36,631
有形固定資産	93,529	97,580
無形固定資産	10,474	10,831
前払年金費用	3,611	4,908
繰延税金資産	6,982	—
支払承諾見返	73,438	63,772
貸倒引当金	△ 44,200	△ 39,354
資産の部合計	11,312,385	11,954,152
(負債の部)		
預金	9,636,831	10,121,889
譲渡性預金	333,012	419,360
コールマネー	54,172	103,949
債券貸借取引受入担保金	74,402	83,248
特定取引負債	30,352	24,074
借入金	279,349	290,790
外国為替	358	930
社債	20,000	10,000
その他負債	87,407	82,103
退職給付引当金	18,936	18,778
睡眠預金払戻損失引当金	1,850	2,035
ポイント引当金	143	158
繰延税金負債	—	271
再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,157
支払承諾	73,438	63,772
負債の部合計	10,623,495	11,234,519
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	122,134	122,134
資本準備金	122,134	122,134
利益剰余金	371,544	404,144
利益準備金	50,930	50,930
その他利益剰余金	320,614	353,214
固定資産圧縮積立金	33	33
別途積立金	275,971	305,971
繰越利益剰余金	44,609	47,209
自己株式	△ 7,581	△ 17,581
株主資本合計	631,166	653,766
その他有価証券評価差額金	48,629	55,633
繰延ヘッジ損益	△ 1,167	23
土地再評価差額金	9,983	9,834
評価・換算差額等合計	57,445	65,491
新株予約権	277	374
純資産の部合計	688,889	719,632
負債及び純資産の部合計	11,312,385	11,954,152

■損益計算書(要約版)

(単位：百万円)

科目	(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)		(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	
	平成25年3月期	平成26年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
経常収益	196,854	193,319		
資金運用収益	141,334	137,698		
信託報酬	1	2		
役務取引等収益	33,591	36,030		
特定取引収益	1,326	1,947		
その他業務収益	6,338	5,932		
その他経常収益	14,262	11,707		
経常費用	130,409	122,947		
資金調達費用	11,216	11,047		
役務取引等費用	18,104	18,192		
特定取引費用	3	—		
その他業務費用	841	3,228		
営業経費	83,987	83,309		
その他経常費用	16,256	7,169		
経常利益	66,444	70,372		
特別利益	24	0		
固定資産処分益	24	0		
特別損失	591	967		
固定資産処分損	507	722		
減損損失	84	245		
税引前当期純利益	65,877	69,404		
法人税、住民税及び事業税	24,190	23,731		
法人税等調整額	461	2,465		
法人税等合計	24,651	26,197		
当期純利益	41,225	43,206		

地域密着型金融の推進への取組み状況について

基本的な考え

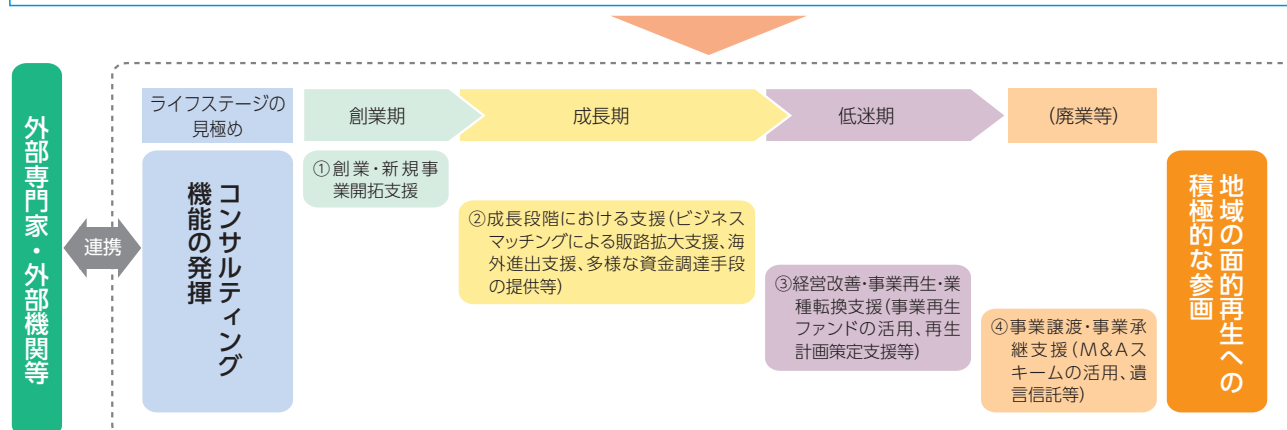
ちばぎんグループは、持続可能な地域社会の実現のため、「金融仲介機能の発揮（本業）」、「地域社会への貢献（社会貢献活動）」、「人材育成の強化」に努め、お客さま満足度の向上とコンプライアンスをつうじたCSR活動に積極的に取り組んでいます。

地域密着型金融の取組みは、CSR活動における「本業」及び「社会貢献活動」につながる重要な活動であり、中期経営計画に掲げた各項目を着実に実践することで、組織的かつ継続的に推進してまいります。

地域密着型金融の全体図

中期経営計画

第12次中期経営計画「ベストバンク2020 ～価値創造の3年」では、グループ一体となったコンサルティング機能の発揮により地域密着型金融を実践し、お客さまが抱えるさまざまな課題の解決をサポートするため、企業のライフサイクルに応じた積極的なソリューションの提供や地域における情報コーディネート機能の強化等に取り組んでいます。



地域や利用者に対する積極的な情報発信

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域金融機関として「金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献する」という役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、

お客さまのライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮による地域密着型金融の推進については最も重要な経営課題として位置付けており、今後も各種施策をつうじてこれらを実践し、お客さまの経営支援に積極的に取り組んでまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行では、法人営業部内の「成長ビジネスサポート室」に、医療・介護、農業、観光、環境、国際業務など、成長分野ごとの専門人員を配置し、営業店と一体となって、創業・新規事業の開拓や海外への事業展開など、お客さまの事業の成長をサポートしております。

また、お客さまの経営改善や事業再生を積極的に支援するため、企業サポート部を中心に専門的な知識・ノウハウを有する人員を配置し、営業店への指導を強化しています。さらに、営業店や外部機関等と連携し、お客さまの経営課題や技術力、販売力といった定性的な情報を含む経営実態の十分な把握に

努め、最適なソリューションの提案と、ソリューション実行後の経営相談や経営指導を継続的に実施するなど、事業改善、再生支援に向けた適切なフォロー態勢を整備しています。

なお、経営改善が必要なお客さまから新規でお借入れのご相談があった場合、新たな収益機会の獲得や中長期的な経費削減等が見込まれ、業況や財務等の改善につながると判断される場合には、適切に新規の信用供与を行うよう努めています。

※お客さまのお借入れに関するご相談を最寄りの営業店でお気軽にしていただけるよう、全営業店及び出張所に「金融円滑化相談窓口」を設置しています。

中小企業の経営支援に関する取組状況

東日本大震災からの復興支援及び新たに発生した災害からの復旧支援への取組み

東日本大震災における被災企業等の二重債務問題解決、事業再生支援に継続して取り組むとともに、平成25年9月に発生した千葉県野田市・埼玉県越谷市の突風災害及び平成25年10月に関東地方に大きな被害をもたらした台風26号による災害からの復旧を支援するため、被災者向け融資制度を創設し、円滑な資金供給を迅速に行いました。



平成25年度の主な取組み

■債権買取ファンドを活用した被災企業の再生支援

- ・千葉産業復興機構*の活用実績：9件
- ・茨城県産業復興機構の活用実績：1件
- ・東日本大震災事業者再生支援機構の活用実績：3件

※千葉県内被災企業等の事業再建に大きな障害となる「二重債務問題」を解消することを目的に、中小企業基盤整備機構、千葉県、地元金融機関等との協調出資により設立

事例紹介

債権買取ファンドを活用した被災企業の再生支援

経緯

A社は、新鮮な地場の野菜等を主力商品とする食品スーパーで外食の宅配店を併営し、約120名の従業員を雇用しています。平成23年3月の東日本大震災に伴う風評被害により、主力とする地元農産物等の売上が急減し、十分な利益が見込めない状況となりました。そのため、利益に比し有利子負債が過大となり、自力での再建が困難な状況となりました。

支援内容

当行は、東日本大震災事業者再生支援機構への被災前債権売却を前提とし、マネジメントの強化と経費削減等による経営改善等を盛り込んだ事業計画の策定及び金融機関の合意形成に主導的な役割を果たしました。また、A社の事業継続に不可欠な運転資金の融資についても、十分な対応を行いました。

成果

東日本大震災事業者再生支援機構へ売却された被災前債権の一部が放棄されたことでA社の二重債務問題は解消し、返済負担も軽減されました。加えて、アクションプランの履行により経営改善が見込まれ、地域の食品スーパーとしての事業再建に目途が立ったことで、約120名の従業員の多くが引き続き雇用されることとなり、地域経済への影響も回避することができました。

■制度融資を活用した被災者支援への取組み

- ・東日本大震災復興緊急保証の活用実績：85件/1,745百万円
- ・東日本大震災被害復旧融資制度の活用実績：23件/378百万円
- ・災害復旧支援融資制度(野田市・越谷市突風災害)の活用実績：2件/2百万円
- ・災害復旧支援融資制度(台風26号災害)の活用実績：3件/24百万円

災害時における相互協力

平成26年4月、TSUBASA(翼)プロジェクト*参加行により「災害時相互協力に関する協定書」を締結しました。参加行の各営業地域において災害が発生した場合、現金支払・振込の代行受付や物資の提供、人員の派遣等を行い、相互に協力してまいります。



※TSUBASA(翼)プロジェクトとは、システム共同化や人材交流、情報交換などを行うプロジェクトで、現在6行(当行と東邦、第四、北國、中国、伊予銀行)が参加しています。

地域密着型金融の推進への取組み状況について

お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

①〔創業、新規事業支援〕

創業及び新規事業にかかる資金ニーズへの対応や成長分野関連事業への各種支援を行っています。

②〔事業拡大支援〕

成長段階にある企業の更なる飛躍に向け、さまざまな支援を行っています。

③〔経営改善、事業再生支援〕

外部機関等も活用しながらコンサルティング機能を発揮し、引き続きお客様の実情に応じた再生支援活動を実施しています。

④〔事業譲渡、事業承継支援〕

債務整理等に向けた適切な助言や事業譲渡、事業承継支援を行っています。

平成25年度の主な取組み

①〔創業、新規事業支援の主な取組み〕

■公益財団法人「ひまわりベンチャー育成基金」による助成金の交付(9件/27百万円)

事例
紹介

公的支援策活用や外部機関との連携によるベンチャー企業への多面的な経営支援

経緯

消防関連製品の企画製造を行うB社は、新製品のアイデアを数多く保有していましたが、開発資金の調達や製造委託先、販売先などのパートナー探し、中長期的な事業方針の策定等の課題を抱えていました。

支援
内容

当行は、ひまわりベンチャー育成基金の助成金や融資による資金支援のほか、中長期的な事業計画を策定するため、「経営革新計画」の認定取得を支援し、中小企業診断士を交えて詳細な事業計画を作成、県の認定を得ました。

また、千葉県産業振興センターの「ちば中小企業元気づくり助成事業」を活用し、新製品の販路開拓を支援したほか、インキュベーション施設「東葛テクノプラザ」への事務所移転紹介や千葉産業人クラブ主催の「千葉県優秀企業経営者表彰」への推薦を行うなど多面的な支援を行いました。

成果

B社では、アイデアをビジネスへと着実に進展させるための事業計画を策定したことで、中長期の事業方針が明確になりました。また、ひまわりベンチャー育成基金の助成や千葉県優秀企業経営者表彰の受賞によるパブリシティ効果、「経営革新計画」の認定取得による認知度と信用力の向上により、B社製品の引き合いが増え、販路拡大に繋がりました。

■ちばぎんキャピタルによるベンチャー企業向け投資の取組み(4件/152百万円)

■各種補助金制度申請のサポート

- ・「創業補助金」申請のサポート(103件)
- ・「ものづくり補助金」申請のサポート(126件)

経営革新等支援機関として、起業・創業、海外需要の新規獲得、新たなものづくりへの挑戦等に取り組む個人や中小企業に対し、その費用の一部を国が補助する各種補助金制度の申請をサポートしました。

■千葉県産業振興財団主催の「ベンチャーカップCHIBA※」への協賛

※新規性・独創性に富んだビジネスプランの事業化を志す起業家を表彰する制度

■農業法人化支援および異業種による農業参入支援(9件)

②〔事業拡大支援の主な取組み〕

■商談会開催(9回、うち個別企業商談会6回)、セミナー開催(9回)

■「地域再生・活性化ネットワークに関する協定書」の締結

平成26年1月、県境・地域を越えて活躍される事業者のさまざまな経営課題やビジネスニーズに対し、本ネットワークに参加する地方銀行の金融仲介機能を活用することで最適なソリューションを提供していくため、他地域の地方銀行8行との間で連携に関する協定を締結しました。

■外国銀行との業務提携による金融面のサポートをつうじた取引先企業のアジアビジネス支援

・外国銀行との協調によるスタンバイL/C：7件/2,400百万円

■他業態企業・自治体等との業務提携効果を発揮した取引先企業のアジアビジネス支援

事例
紹介

海外ネットワークを活用した取引先企業のアジア進出支援

経緯

営業店は、歯科診療所を経営するC会より、関連先である医療経営コンサルタント業のD社が東南アジア地域に現地法人を設立するという情報を入手し、直ちに本部の国際業務担当者に連絡して対応方針の協議に入りました。

支援
内容

当行では、本・支店およびシンガポール駐在員事務所が連携し、資金調達に関する提案をはじめ、進出先の投資環境説明や口座開設銀行の紹介等、具体的なアドバイスを行いました。

成果

D社は、現地法人の設立に必要な資金調達を円滑に行うことができ、進出地域におけるビジネス拠点を築くことができました。当該地域では、日本の高度な医療技術に対するニーズが高く、今後のビジネス拡大が期待されています。

■「海外展開一貫支援ファストパス制度※」への参画

本制度への参加により、海外展開を検討している中堅・中小企業への一貫的なサポート体制が拡充されました。
※地域金融機関や商工会議所などの国内各地域の企業支援機関が、外務省や日本貿易振興機構(JETRO)などの海外展開支援に知見のある公的機関の協力を得ながら、中堅・中小企業の海外展開を支援する制度。

■M&Aスキームの活用による事業拡大支援(成約：7件)

■担保や個人保証に過度に依存しない多様な資金調達手段の提供

・シンジケートローン(当行アレンジ分)：28件/41,055百万円

・私募債：116件/10,550百万円

・ABL：84件/6,488百万円(うち保証協会保証付き22件/1,163百万円)

・債権流動化：買取額合計62,637百万円

なお、業務マニュアルの制定、動産評価システムの導入など、当行のABL融資の高度化に向けた取組みが評価され、関東財務局より、平成25年度地域密着型金融に関する取組みへの顕彰を受けました。

■顧客企業の環境への取組みを支援する融資の促進

・太陽光発電事業支援融資制度

「ちばぎんエコ・パワー※」

(融資実績：82件/2,843百万円)

※平成24年9月、再生可能エネルギー発電事業へ参入する事業者を金融面で支援するため、国の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」に対応した発電事業者向けに創設した融資制度



地域密着型金融の推進への取組み状況について

■農林漁業の成長産業化を支援するファンドの創設(ファンド総額：20億円)

農林漁業の成長産業化と地域経済活性化に貢献することを目的に、県内に本店を置く11金融機関が共同で「ちば農林漁業6次産業化投資事業有限責任組合」を設立しました。

なお、平成25年9月に、当行が出資受入れの支援を行った「植木・盆栽のグローバルプロジェクト」が第一陣案件(全国で3件)の1つとして、(株)農林漁業成長産業化支援機構より出資同意の決定を受け、平成25年12月に50百万円の出資を実行しました。

■「ひまわりニーズNAVI(WEB版)※」による会員企業向け情報サービスの提供

(会員数：5,993先、アクセス件数：37,128件、会員情報掲載先：751件、企業情報登録先：637件、ニーズ登録件数：659件、マッチング交渉件数：226件、マッチング成立件数：102件)

なお、登録情報を基幹系システム共同化プロジェクト(ITSUBASA(翼)プロジェクト)参加行に対し提供した結果、ニーズ登録先が第四銀行(本店：新潟市)主催の商談会にバイヤーとして参加するなど、地域を越えたビジネスマッチングが成約しました。

※ちばぎん総合研究所の会員を対象とした無料のビジネスマッチングサービス

③(経営改善、事業再生支援の主な取組み)

■主要な計数

項目名		25年度実績	24年度実績(ご参考)
正常先を除く期初債務者数	A	14,471先	14,319先
うち経営改善支援取組み先数	α	511先	578先
うち期末に債務者区分がランクアップした先数	β	22先	18先
うち再生計画を作成した先数	γ	463先	528先
経営改善支援取組み率	α/A	3.5%	4.0%
ランクアップ率	β/α	4.3%	3.1%
再生計画策定率	γ/α	90.6%	91.3%

■外部機関との連携による経営改善支援

- ・中小企業再生支援協議会、千葉県産業復興相談センターへの相談実施：67件
- ・千葉県産業復興相談センターによる出張相談会の開催支援：14回
- ・経営改善計画策定支援事業における認定支援機関との連携：28件

■新たな再生手法の活用による事業再生支援

- ・DDSの実施：3件/415百万円
- ・事業再生ADRの活用：1件
- ・M&A(株式譲渡による事業継続支援)の実施：1件
- ・第二会社方式※の活用：1件



※債務者の資産および負債を、今後の事業継続に必要なもの(Good事業)と、そうでないもの(Bad事業)に分け、Good事業を事業譲渡や会社分割を用いて切り出した新会社を存続(再生)させ、Bad事業を残した旧会社は特別清算手続等により清算する手法。

事例紹介

第二会社方式を活用した事業再生支援

経緯

E社は地場の老舗印刷会社ですが、近年の紙広告市場の縮小傾向の中で、過去に実施した設備投資負担が大きく、実質的な債務超過先となっていました。売上が減少する中、抜本的な経営改善が図られず、自力での再建が困難な状況に陥っていました。

支援内容

当行主導で千葉県中小企業再生支援協議会に支援の相談をした結果、同協議会より第二会社方式による再生スキームが提示され、同スキームについて全金融機関が合意しました。具体的には、会社分割後の新会社がスポンサー企業の出資を受けて主たる事業を引き継ぎ、旧会社を特別清算するとともに、特別清算の実施に伴い金融機関は債権放棄を行いました。

成果

全金融機関による合意の下で会社分割が実施され、事業が新会社に継承されるとともに、50名を超える全従業員の雇用も維持され、地域経済への影響を回避することができました。

■「千葉県中小企業支援ネットワーク※」への参画

- ・ネットワーク会議への参加：2回
- ・経営サポート会議の活用：32件

※平成24年11月、中小企業に対する経営改善・事業再生・業種転換等の支援の実効性を高めるため、県内地域金融機関、千葉県税理士協会、千葉県中小企業診断士協会等の諸団体を構成員(事務局:千葉県信用保証協会)として創設された機関。関係団体が情報共有を行う「ネットワーク会議」と、関係金融機関や保証協会等が経営改善計画、資金繰り、返済方法の見直し等にかかる意見交換を行う「経営サポート会議」が開催されています。

■国土交通省との「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業※」に関するパートナー協定の継続

当行は事業パートナーとして、本事業により支援を受けるべき顧客企業の推薦や事業目標の達成に向けた継続的な支援を国土交通省と連携して行っています。

※国土交通省が平成23年度より実施している建設業を対象とした経営支援事業。

■「千葉県中小企業支援プラットフォーム※」への参画

中小企業が抱える経営課題の解決に向け、本プラットフォームが有する専門家派遣機能等を活用した支援を行うことが可能となりました。

※千葉県内の中小企業支援を行う機関の連携体。千葉県産業振興センターを代表機関とし、金融機関、商工会議所等で構成される。

④【事業譲渡、事業承継支援の主な取組み】

■後継者不足等の課題解決策としてのM&Aスキームの

活用による事業譲渡支援(成約：5件)

■相続関連業務の受託による資産承継・事業承継支援

- ・経営承継サポートサービス：1件
- ・遺言作成サポートサービス：142件
- ・遺言信託：107件
- ・遺産整理業務：46件

■「経営者のためのM&Aセミナー」の開催（参加企業：38社）

高齢化により事業承継ニーズが高まっている企業や、事業拡大ニーズのある企業の経営者に対して、M&Aを切り口とした課題解決手法などの情報を提供しました。



地域の活性化に関する取組状況

地域の面的再生への参画

自治体や地元大学と連携した諸活動の推進により地域活性化に貢献するとともに、公共施設等の建て替えニーズへの対応や区画整理・再開発事業に計画段階から関与するなど、地域の面的再生に積極的に参画しています。

平成25年度の主な取組み

■千葉大学、千葉工業大学と連携した「ちばぎん・研究開発助成制度※」による助成金交付(11件/13百万円)

※地元大学の研究結果を中小企業の新たな技術・商品開発ニーズとマッチングすることで中小企業の成長をサポートし、地域の産業及び経済の発展に寄与することを目的に創設した助成制度。

■千葉県内自治体に対するPFI事業の情報提供及び県内外のPFI事業の資金ニーズへの対応(融資実績：6件/7,760百万円)

■地域情報の行内マッチングに基づく地権者向け不動産有効利用提案及び資金ニーズへの対応

- ・マッチング件数：185件
- ・土地有効利用関連融資実行額：22,266百万円

■千葉県信用保証協会との提携保証制度「レント※」を活用した個人不動産賃貸業向け支援(融資実績：17件/909百万円)

※平成24年10月、千葉県内の賃貸用不動産供給にかかる潜在的な資金需要に対し、個人の不動産賃貸事業者の資金調達手段を広げ、円滑な資金供給を図ることを目的に、千葉県信用保証協会との提携により創設した保証制度。

法人・個人事業主のお客さまへ

成長分野への取組みについて

当行は、地域の成長につながるビジネスを全力でサポートします。資金面での支援にとどまらず、あらゆる経営課題の解決に向けてお客さまとともに取り組んでいます。

成長ビジネスサポート室

法人営業部内の「成長ビジネスサポート室」では、医療・介護、農業、観光、環境、PFI、国際業務などの成長分野に専門人員を配置し、「ビジネスマッチング」や「公的支援策」を活用することで、営業店と一体となってお客さまをサポートしています。

医療・介護

- 資金調達に関する支援
- 医療・介護業界の関連企業との連携による経営支援
- 医療経営に関するセミナーの開催

農業

- 加工・販売を含め経営の多角化を図る6次産業化の支援
- 国内外の販路開拓支援を中心としたビジネスマッチングの開催
- 農業法人設立や異業種からの農業参入における支援

観光

- 外国人観光客と県内の医療機関をつなぐメディカルツーリズムの促進支援
- 地域活性化を促進するイベントへの協力やビジネスマッチングの開催
- 旅館・ホテル業を対象とした経営改善セミナーの開催

環境

- 企業の環境への取組みを独自の評価システムで格付けする「環境格付」と、格付に応じて金利割引を行う「環境格付融資制度」の取扱い
- 太陽光など再生可能エネルギーを活用した発電事業者向け融資制度「ちばぎんエコ・パワー」の取扱い
- 省エネに関するセミナーの開催や「省エネ診断」サービスの提供

PFI

- 勉強会やセミナーの開催をつうじた県内自治体に対する官民連携事業に関する情報提供
- 入札された官民連携事業を遂行する民間事業者へプロジェクトファイナンスなどの金融手法を用いた資金供給

公的支援策活用

- 経営革新等支援機関として補助金に関する情報の提供や申請の支援
- 経営革新計画、地域資源、農商工連携等の取得の支援

ビジネスマッチング

ちばぎんマルシェ

千葉市主催の「検見川ビーチフェスタ」にて、お取引先が農産物や特産品を販売



ちばぎん省エネ・ECOセミナー

企業の環境に配慮した経営について、セミナーをとおしてサポート



地方銀行フードセレクション2013

地方銀行38行が共催する国内最大級の食の商談会にて、出展したお取引先を支援



千葉と愛媛の観光・物産展示会

当行と伊予銀行が合同で、両県の特産物や観光資源をPR



ちばぎんアグリ商談会

農業生産者の販路拡大を目的としたビジネスマッチング商談会を実施



ちばぎんビジネスマッチング商談会 in ウランバートル

現地での情報提供と販路拡大に向けた現地バイヤーとの商談会を実施



海外進出企業向け支援セミナー

アジアを中心とした各国の経済情勢や投資環境などに関する情報を提供



医療機関向けセミナー

「医療と介護の連携」や「看護師採用」などの医療・介護に関する情報を提供



国際業務

当行はアジアに3拠点(香港、上海、シンガポール)、米国に1拠点(ニューヨーク)、欧州に1拠点(ロンドン)の合計5つの海外拠点を有しています。また、外国銀行や他業態、自治体等との連携により、貿易・海外事業展開など、経済のグローバル化に対応するお客さまのさまざまなニーズにお応えしています。

- 輸入信用状の開設、輸入ユーザンスや輸出手形・小切手の取扱いなど貿易取引の支援
- 海外の最新情報の提供や、海外での販路開拓を目的とした商談会の実施など海外進出の支援

他業態・自治体等との連携 (平成26年7月1日現在)

- 日本通運株式会社
- 日本興亜損害保険株式会社
- セコム株式会社
- 総合警備保障株式会社
- 興銀リース株式会社
- 独立行政法人日本貿易保険
- 千葉県
- 千葉市
- 香港貿易発展局



事業承継ニーズに対するサポート体制

お客さまが円滑に事業承継を行えるよう、個別のニーズや事情に応じて、スキームの立案から実行までサポートしています。

事業の承継先	承継の形態	サポートの内容	当行で提供可能なソリューション
親族内承継	親 族 ● 親族への株式の譲渡、贈与、相続 ● 持株会社や財団法人の活用(自社株式の間接保有)	法人の経営権の承継と個人の資産承継の両面から見た、バランスのとれた事業承継対策プランを策定し、サポートしています。	● 経営承継サポートサービス ● 遺言信託 ● ファイナンス ● 各種保険のご案内
親族外承継	役職員 MBO	役職員が承継可能な資本政策を策定し、スキームの実行をサポートしています。	● 経営承継サポートサービス ● MBOアドバイザー ● ファイナンス
	第三者 M&A	適切な事業承継先を選定し、デューデリジェンス等スキームの実行をサポートしています。	● M&Aアドバイザー ● ファイナンス

*対策の立案・実行にあたっては、提携先の弁護士・税理士等の専門家と協働し、お客さまをサポートします。

TOPICS ABLの高度化に向けた取組み

お客さまが保有する売掛債権や商品在庫、機械などの債権・動産を担保として融資するABLの高度化に向けて、下記の取組みを行っています。これにより、平成26年3月に、関東財務局より「地域密着型金融に関する取組み」において顕彰を受けました。

● ABL業務マニュアルの制定

ABLの推進に向け、制度概要や事務手続き等を規定したマニュアルを制定

● 「動産評価システム」の導入

職員が実査や経営者ヒアリングにより算定した評価結果を、提携する外部機関が確認・検証し、評価掛目の形で還元する「動産評価システム」を導入

個人のお客さまへ

店舗・ATMネットワーク

当行は、千葉県及びその隣接地域を中心に、積極的に店舗・ATMネットワークを展開しています。平成26年3月末時点で、国内177店舗と県内金融機関で最多、地方銀行でもトップレベルの拠点を有しています。また、ショッピングモールや駅など利便性の高い施設内にATMを設置しているほか、他の地方銀行とATM利用手数料の割引に関する提携を進めるなど、ATMネットワークの拡充を図っています。



ローン業務

住宅ローン

住宅ローンのお借入れ・お借換えをご検討のお客さまに、ニーズにあった金利のタイプ(変動金利、固定金利)やご返済方法をご提案いたします。

目的別ローン

マイカーローンや教育ローン、リフォームローン、ブライダルローン、医療ローン、デンタルローンなど、お使いみちごとに多様なローン商品を取り揃えています。

カードローン

お使いみちを問わず、ATM(当行、提携金融機関、提携コンビニなど)で随時お借入れいただけるカードローンを取り扱っています。

ちばぎん
ローン
ダイレクト

土日祝日・夜間でもお気軽にお電話ください!

銀行窓口の終了後や休日でも、各種ローンのご相談から仮審査申込みまで承る電話専用の相談窓口「ちばぎんローンダイレクト」をぜひご利用ください。

0120-71-7860
(通話料無料)

受付時間/平日9:00~20:00 土日祝日10:00~17:00

営業日/年中無休(ただし、12月31日~1月3日および5月3日~5月5日を除く)
※携帯・PHSからもご利用いただけます

ちばぎんローンプラザ

住宅ローンをはじめ、ローンに関するさまざまなご相談にお応えし、お客さまのニーズにあった商品をご提案いたします。

営業時間:平日(水曜日を除く)10時~18時、土・日・祝日10時~17時 休業日:毎週水曜日、12月31日~1月3日、5月3日~5月5日

ローンプラザ	住所	TEL
千葉中央ローンプラザ	千葉市中央区富士見2-3-1 塚本大千葉ビル2階	043-227-8505
柏ローンプラザ	柏市中央1-1-1 ちばぎん柏ビル5階	04-7163-7111
船橋ローンプラザ	船橋市本町7-12-23 藤井ビル3階	047-424-8726

資産づくり・資産運用

預金商品

普通預金・定期預金・外貨預金など、お客さまのニーズに合わせた各種商品を取り揃えています。また、「ちばぎん教育資金贈与専用口座」を取り扱っています。

保険商品

将来のための資金づくりや万一の場合の備えなどお客さまの目的に合わせて、年金保険や終身保険、医療・がん保険などの各種保険商品をご提案いたします。

投資信託

幅広いファンドラインアップの中からお客さまのライフプランや投資目的に合った商品をご提案いたします。また、少額投資非課税制度「NISA」口座を取り扱っています。

ちばぎんコンサルティングプラザ

土・日・祝日
も営業!

ちばぎんコンサルティングプラザ市川



住所：市川市八幡三丁目3番2-201号
TEL：047-321-1001

平成26年4月、千葉・柏・船橋に次ぎ4番目となる「ちばぎんコンサルティングプラザ市川」を新設しました。資産運用や保険などをじっくりご相談いただけるよう、個室ブースを設置しているほか、各種セミナーを開催し、最新の金融・経済情報を提供してまいります。また、「ちばぎん証券」の営業所を併設し、お客さまのさまざまなニーズにお応えできる店舗となっています。

ちばぎんコンサルティングプラザ千葉



住所：千葉市中央区富士見2-3-1
TEL：043-227-5211

ちばぎんコンサルティングプラザ柏



住所：柏市柏1-1-21
TEL：04-7160-1311

ちばぎんコンサルティングプラザ船橋



住所：船橋市本町7-12-23
TEL：047-424-1931

●営業日：年中無休(12月31日～1月3日および5月3日～5月5日を除く) ●営業時間：平日10時～18時、土・日・祝日10時～17時

相続関連業務

「相続」や「遺言」に関するご相談から、資産の現状把握、遺言書の作成・執行、さらに相続開始後の複雑な手続きまで、お客さまの相続に関する手続きをトータルでサポートしています。

業務	内容
遺言作成サポートサービス	財産台帳を作成し、資産承継に関するお客さまの考え方を整理するとともに、お客さまの資産を多面的に分析し、より良い資産承継プランの決定にお役立ていただくための報告書を作成します。
遺言信託	当行とのご相談をつうじて、お客さまに公正証書遺言を作成していただけます。完成した遺言書を当行がお預かりし、相続開始後に遺言書の記載に従って、遺言執行の手続きを行います。
遺産整理業務	相続開始以降、相続財産の調査や遺産分割協議書作成のお手伝いから、遺産分割手続き(財産の名義変更や換金処分等)まで、相続に関する煩雑な手続きをご遺族に代わって行います。

TOPICS クレジットカードを活用した「地域優待サービス」

「地域優待サービス」は、当行・ちばぎんジェシービーカード(株)・ちばぎんディーシーカード(株)が発行するクレジットカードを使って、ちばぎんパートナーの店舗等でお買い物をしていただくと、クレジットカードのポイント優待*や商品代金割引等の特典が受けられるサービスです。

平成26年4月には、ちばぎんパートナーは33社、対象店舗数も約2,700店に拡大し、お客さまにより便利にご利用いただけるようになりました。対象店舗やサー

ビス内容等詳細は店頭またはホームページでご確認ください。



*クレジットカードのポイントとは、「Ok! Doki! ポイント(JCB)」 「DC ハッピープレゼントポイント(DC)」のことです。貯まったポイントは、さまざまな商品等に交換できます。

金融犯罪防止への取組み

インターネットバンキング不正取引への対策

近年、インターネットバンキングにおいて、ID・パスワードなどお客さまの重要な情報を盗み取り、不正に利用する犯罪が急増しています。当行ではお客さまに安心してインターネットバンキングをご利用いただけるよう、各種対策に取り組んでいます。

フィッシング対策

フィッシングとは、インターネットをつうじて銀行等になりすまし、偽の電子メールを送りつけ、あらかじめ用意しておいた偽のホームページに誘導して暗証番号等を詐取し、インターネットバンキング上で不正利用を行う行為です。

～Phish Wall(フィッシュウォール)プレミアム～

このソフトは、お客さまがアクセスしたウェブサイトが偽装されていないか確認できるフィッシング対策ソフトです。これによりアクセスしているウェブサイトが本物であることを確認できます。



無償でご提供!
HPよりダウンロード
できます!

ワンタイムパスワード

ワンタイムパスワードとは、一回限りの「使い捨てパスワード」のことです。パスワードは60秒ごとに更新され、一度使用したパスワードはその時点で使用できなくなります。これにより、万が一スパイウェア等により入力したパスワードが第三者に盗まれたとしても、次のログオン時には盗まれたパスワードは無効となるので、不正取引の防止につながります。

トークン

ワンタイムパスワードを表示するための機械です。



無償でご提供!
インターネットバンキング
よりお申込み
できます!

ワンタイムパスワード
トークン(パスワード生成機)
に表示された6桁の数字

振り込め詐欺被害の防止対策

多様化する悪質な振り込め詐欺からお客さまを守るため、下記取組みを行っています。

- 千葉県警察本部監修のもと「振り込め詐欺にだまされないために」を作成し、ホームページ等で掲載しています。振り込め詐欺の手口や被害にあわないための注意点をイラストを用いてわかりやすく解説しています。
- 千葉県警察と連携し、お客さまの高額払出等に対し、振り込め詐欺の未然防止のお声掛けを実施しています。



ご注意
ください!

よくある詐欺の手口

オレオレ詐欺

解説 子供や孫を騙り、お金をだまし取る詐欺です。「風邪で声が変わった」「携帯電話の番号が変わった」とだまし、本人ではなく知人がお金を取りに来る、あるいは本人名義以外の口座へ振り込ませる等の特徴があります。

対策 必ずご家族に相談すること、また「携帯電話の番号が変わった」と申し出があった場合、必ず変更となる前の相手の番号に連絡確認してください。

還付金詐欺

解説 役所の職員や銀行員を名乗り、税金や医療費が還付されるとだまし、ATMへ誘導してお金を振り込ませる詐欺です。「還付の手続きをATMで行ってほしい」「手続きの最終日なのですぐに手続きを取ってほしい」等の申し出があることが特徴です。

対策 ATMで還付手続きをすることはありません。相手が名乗った役所や銀行に連絡して該当の人物がいるか確認してください。

振り込め詐欺被害者救済法に関するご相談

当行では、標記法令に基づき、当行の預金口座に犯罪被害資金を振り込まれた方に対し、当該口座に残っている資金を返還する手続きを行っております。詳しくは下記の相談窓口にてご相談を受け付けております。

被害者の方からのご相談を受け付ける窓口

(フリーダイヤル) **0120-788-903**

※資金をお返す際には諸手続きが必要となるため、一定の期間を要します。また、お返しできない場合もございます。

キャッシュカードに係る犯罪と対策

キャッシュカードの偽造や盗難等によるお客さまの預金等の不正払戻しが多発しています。当行では犯罪による被害を未然に防止するため、お客さまに下記のような対策を呼び掛けています。

キャッシュカードに係る犯罪の種類

偽造

キャッシュカードに保管されている磁気情報を盗んで、別のカードを偽造し現金引出・振込等を行う犯罪です。

盗難

キャッシュカードを盗み、そのカードを使って現金引出・振込等を行う犯罪です。

詐取

所有者からカードをだまし取り、そのカードを利用して現金引出・振込等を行う犯罪です。代表的な手口は、警察・役所の職員・銀行員を騙るものが自宅を訪問し（事前に電話連絡が入る場合もあり）、言葉巧みにカードを預かり、また、暗証番号を聞き出すというものです。

近年急増!

対策

- 容易に類推できる暗証番号を使用せず、また、類推しやすいものと一緒に保管しないでください。
- 警察・役所の職員・銀行員がキャッシュカードを預かること、また、暗証番号を伺うことはありませんので、他人にカードを渡したり、暗証番号を教えることは絶対にしないでください。
- [生体認証対応 IC キャッシュカード] がお客さまのご預金をお守りします。

「生体認証」とは、1人ひとり異なる体の特徴を利用して本人を確認する技術です。「生体認証対応 IC キャッシュカード」で ATM 等でのお取引をいただくと、「暗証番号」に加え、あらかじめ IC チップ内に登録したお客さまの生体情報（指静脈パターン）と、実際取引している人の指静脈パターンを照合して本人確認を行うため、万が一盗難等にあった場合でも被害を防ぐことができます。



キャッシュカード利用限度額について

当行では不正支払いからお客さまの大切なご預金をお守りするために、ATM での1日あたりの利用限度額を右記の通り定めています。

※デビットカードの利用は最大200万円、他行 ATM の利用は最大200万円、事業向けカードローンは右記の対象外。

	磁気ストライプ取引	IC チップ取引	生体認証取引
お引出し お借入れ	50万円 (0~50万円) で変更可能	100万円 (0~100万円) で変更可能	300万円
お振込、お振替 ペイジーによる払込、 デビットカード	総支払限度額 200万円 (個人 0~200万円 法人 0~900万円) で変更可能	総支払限度額 200万円 (個人 0~200万円 法人 0~900万円) で変更可能	総支払限度額 1,000万円

金融犯罪防止への取組み

ちばぎんインターネットEBサービス<Web-EB>をご利用のお客さまへ

昨今、全国的にインターネットバンキングを狙った金融犯罪が多発しています。

お客さまのパソコンをウィルスに感染させ、インターネットバンキング取引に必要な情報(IDやパスワード等)を盗み取って不正送金を行い、すぐにコンビニATM等で現金を引き出すというものです。このような犯罪からお客さまの大切なご預金をお守りするため、下記対策を行っています。



対策

①ご利用限度額の変更

Web-EBにおける振込・振替サービス都度指定方式(併用方式を含む)のご利用限度額及び、税金各種料金払込サービスのご利用限度額を10,000千円とさせていただきます。

変更前	変更後
99,999千円	10,000千円

②振込・振替サービス都度指定方式の「当日扱」の取扱い中止

平成26年6月11日より当面の間、都度指定方式での「当日扱」の振込・振替がご利用いただけません。都度指定方式での「予約扱」及び事前届出方式の「当日扱」「予約扱」は従来通りご利用いただけます。

都度指定方式※1		事前届出方式※2	
当日扱	予約扱	当日扱	予約扱
× (今回変更)	○	○	○

※1 都度指定方式：Web-EB上で登録してある先への振込、もしくはWeb-EBで直接入力して振込を行う方式

※2 事前届出方式：あらかじめ銀行へお届けいただいた受取人番号を入力して振込を行う方式



補償

第三者がお客さまのログインID・暗証番号等を盗用し、Web-EBを不正利用したことによりお客さまの口座に生じた損害を補償します。

対象となるお客さま	Web-EBのご契約があるお客さま
補償内容	お客さまを被保険者・保険金受取人として、当行が日本興亜損害保険株式会社と締結する保険により補償します。保険料は、当行が負担しますのでお客さまの追加のご負担は一切ありません。
年間補償限度額	10,000千円

※補償の対象とならない損害もございます。

※上記内容は変更となる場合がございます。

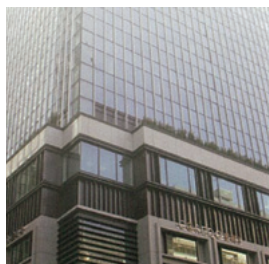
平成26年6月末現在

トピックス

「東京営業部」の新築移転、「ちばぎんひまわりギャラリー」の開設

平成26年2月、日本橋再生計画の一環として建設された「室町ちばぎん三井ビルディング(コレド室町3)」が竣工し、当行東京営業部が同ビル1・5階に移転しました。中央通りに面した店舗入口には大型ディスプレイを設置し、千葉県とタイアップして観光情報などを発信しています。

また3月には、同ビル4階に入場無料のアートスペース「ちばぎんひまわりギャラリー」を開設しました。当ギャラリーでは、有名作家による「企画展」や千葉にゆかりのある作家の「公募展」を開催しています。

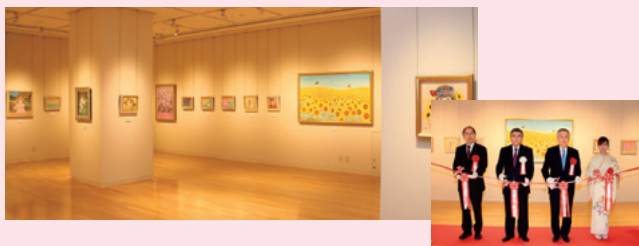


多くの方々に心安らぐ空間を提供するとともに、作家の創作活動を側面から支えることで、地域における文化・芸術の発展に貢献してまいります。

●●ちばぎんひまわりギャラリー●●

開廊時間	10時～18時(最終入廊17時30分) ※企画展最終日は16時まで(最終入廊15時30分)
休廊日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 12月31日～1月3日、入替日
入場料・使用料	無料
所在地	東京都中央区日本橋室町一丁目5番5号 「コレド室町3」4階
最寄駅	JR総武本線 新日本橋駅(直結)、 東京メトロ銀座線 三越前駅(直結)
お問合わせ先	ちばぎんひまわりギャラリー TEL: 03-3270-8898

●●オープン記念 宝居智子展(3月20日～4月20日)●●



オープン記念では、日本画家として活躍している宝居智子さんの個展を開催しました。「日本と中央アジアを結ぶ新しい日本画」と題し、花と蝶など日本画の伝統的な題材を独自の表現方法で描いた作品から、中央アジアのイメージを盛り込んだ作品まで、約40点を一堂に展覧しました。

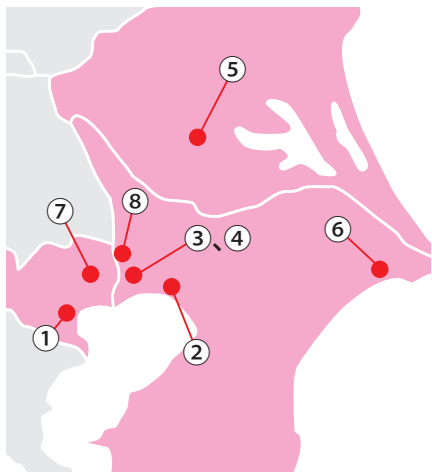
●●個展のスケジュール●●

日程	個展名	作品内容
6月18日～7月21日	泉東臣 展	日本画
7月24日～8月 3日	山本恵美子 展	洋画

日程	個展名	作品内容
8月 6日～8月17日	大山直人 展	日本画
8月20日～8月31日	加瀬達郎 展	工芸

店舗の新設・移転について

お客さまの利便性向上を図るため、積極的に店舗展開を行っています。



●●新設●●

店舗名	新設日
①品川法人営業所	平成25年10月
②ちばぎんひまわりラウンジ 津田沼	平成25年12月
③ちばぎんコンサルティング プラザ市川	平成26年4月

ちばぎんひまわりラウンジ津田沼



●●移転●●

店舗名	移転日
④本八幡支店	平成25年7月
⑤つくば支店	平成26年1月
⑥旭支店	平成26年2月
⑦東京営業部	平成26年2月
⑧矢切支店	平成26年7月

つくば支店



社会貢献活動

当行は、「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開しています。

公益財団法人「ちばぎんみらい財団」

当行は、創立70周年記念事業の一つとして、産業・文化・芸術の振興および生活・福祉の向上に資する事業をつうじて地域社会の持続的な発展に貢献することを目的に、本財団を設立しました。県内中小企業の従

業員を対象とした海外視察派遣、県内幼稚園でのオーケストラ公演、「ちばぎん金融資料室」の運営・管理を主な事業として活動を行っています。

●中小企業等従業員に対する海外派遣事業

第1回:平成25年10月 タイ・シンガポールに16名を視察派遣

第2回:平成26年 2月 ベトナムに13名を視察派遣

●県内幼稚園でのオーケストラ事業

平成25年10月から12月にかけて、県内5か所の幼稚園で公演を実施



「エコノミクス甲子園」千葉大会の開催

金融経済教育の普及を目的として、平成25年12月に千葉興業銀行と共同で、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を開催しました。千葉県内の高校から参加した27チーム54名の高校生が、金融経済に関する筆記クイズや早押しクイズに挑み、熱戦を繰り広げた結果、千葉県立千葉高等学校の並木亮さんと池田麟太郎さんのペアが優勝しました。

さらに、同ペアは平成26年2月に開催された全国大会で、見事千葉県勢で初の全国制覇を果たし、副賞としてニューヨークの研修旅行が贈呈されました。



「ちばぎんカップ」の開催

平成26年2月、Jリーグのプレシーズンマッチ「第20回ちばぎんカップ ジェフユナイテッド市原・千葉VS 柏レイソル」が開催されました。平成7年から開催されている本大会は今年で20回目を迎え、当日は記念イ

ベントが催されるなど賑わいをみせました。また、当行グループより障がいをお持ちの方約480名をご招待し、白熱した試合を観戦していただきました。



「ちばぎんひまわり寄席」の開催

平成26年3月、『笑い』で地域を元気にしたいという思いを込め「ちばぎんひまわり寄席」を開催しました。今回は、千葉県出身の浪曲師で「うなるカリスマ」として幅広く活躍している国本武春さんを招き、三味線の伴奏に乗せた「節」と「啖呵」の魅力溢れる浪曲の世界をお楽しみいただきました。



公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」

当行では、県内で社会福祉法人・ボランティア団体の皆さまが行う障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉等の社会福祉活動を資金面から支援しています。平成25年度には、本基金をつうじて15団体に約8百万円の助成金を交付し、これまでの助成先累計は

52先、交付総額は約27百万円となりました。



環境保全への取り組み

当行の役職員・OBで構成するボランティア組織「Vネットクラブ」では、地域の環境保全を目的に、九十九里海岸や印旛沼をはじめ県内各地で定期的に清掃活動に取り組んでいます。

また、緑を育む活動として、長生郡白子町や山武市蓮沼にて「ちばぎんの森」森林整備活動を行っており、ヒノキやクロマツ等の苗木を植樹し、その後も下草刈り等の育樹活動を継続しています。



「学生版ビジネスアイデアコンテスト」の開催

平成26年2月、学生版ビジネスアイデアコンテストを開催しました。本コンテストは、地域経済の将来の担い手となる学生の起業を支援し、地域の産業および経済の発展に寄与することを目的としています。今回は45件の応募の中から、優秀賞1件、奨励賞2件、ビジネスアイデア賞1件を選定し、各賞の授与を行いました。



お客さま満足度向上に向けた取組み

介助用「車いす」の国内全店設置

介助用の「車いす」を、両替出張所等を除く国内全店（171か店）に設置しました。かねてより16か店に設置しており、ご利用いただいたお客さまからは「店内をととてもスムーズに移動することができた」等のご好評をいただいております。今般全店に設置することで、より多くのお客さまに便利にご利用いただけるようになりました。



高齢者等見守りネットワーク事業への協力

当行は、県内自治体が地域に密着している事業者と連携して、ご高齢者の方を地域全体で見守り支えあう「高齢者等見守りネットワーク事業」に参加しています。店内や店舗周辺等でご高齢者の方の異変に気付いた場合、速やかに自治体と連絡を取り合い、お客さまを適切にサポートします。



お客さま対応の向上に向けた取組み

ご高齢やお体の不自由な方を含む全てのお客さまに安心してご利用いただけるよう、お客さま対応の向上に努めています。具体的には、車いすをご利用のお客さまや目の不自由なお客さまをご案内する際の配慮のある対応

視覚障がい者対応ATMの全店への設置



や、視覚障がい者対応ATMの操作手順等の確認を、全店にて行っています。



サービス介助士及び認知症サポーターの育成

ご高齢やお体の不自由な方に対するおもてなしの心と介助技術を身に付けた「サービス介助士」や、認知症の方やご家族を支援する「認知症サポーター」の育成を行っています。

資格取得者（平成26年3月末時点）

サービス介助士2級:392名
認知症サポーター:849名



CS 行動基準の制定

CSの更なる向上を図るため、全職員向けのCS行動基準<CSAA(シーサ)>を制定しました。本基準をもとに、常にお客さまの高い期待にお応えする気持ちを持つとともに、おもてなしの心により、お客さまに感動を与えるサービスを提供する姿勢を徹底してまいります。



「障害のある人へのやさしい取組み」の認定について

平成26年3月、当行の障がいのある方に配慮した取組みが、千葉県より「障害のある人へのやさしい取組み」として認定されました。

今後も、常にお客さまの立場に立ち、ハード・ソフト両面で全てのお客さまに配慮した取組みを進めてまいります。

千葉銀行では、全てのお客さまに安心してご利用いただける店舗づくりを目指しています。

- 点字ICキャッシュカードの取扱い
- 視覚障がい者対応ATMの全店への設置
- 車いすの全店への設置
- ホワイトボード、コミュニケーションボード、助聴器の全店への設置
- CS講習会の実施(手話講座)
- ロールプレイング等をつうじた、職員の対応スキルの向上 等

人材育成の強化

専門性の高い人材の育成

職員の専門性を高めるための研修や人事ローテーションを実施しています。

中堅職員の業務スキルやノウハウを若手職員へ継承させる取組みとしてブロック勉強会「ちばぎん塾」や、学びたい知識・スキルをタイムリーに習得できるよう休日セミナーを拡充するほか、インターネット自宅学習ツールも導入するなど、職員の学習意欲に応える取組みを進めています。

また、職員の業務スキルをデータベース化し、人材育成や人材配置に活用しています。

多能な人材の育成

職員をトレーニーや視察研修などで積極的に海外に派遣するなど、グローバル化に対応できる人材を育成しています。

また、新たな発想を生み出す企業風土をつくるため、外部人材の採用や異業種企業との人材交流などを行っています。

若手職員の早期戦力化

集合研修やOJT*など人材教育の充実により、若手職員の早期戦力化に努めるなど、将来の当行を担う人材の育成に注力しています。

特に新入社員には、業務に関する研修のほか、「農業体験」や「工場見学」など多彩な経験をつうじて、協働意識や規律意識を高めています。

また、若手職員の育成プランの明確化や習得スキルの見える化により、若手職員に一步一步成長していることを実感させることで、成長に向けたモチベーションを高める工夫なども行っております。

*OJT: On the Job Trainingの略。職場での仕事経験をつうじて業務を習得すること。



中高年職員の活躍支援

中高年職員がいきいきと働くことのできるよう、セカンドキャリア研修やカウンセリングなどを実施し、職員の人生設計を継続的にサポートしています。

また、ベテラン職員のスキル・ノウハウを活用するため、さまざまな職務開発にも取り組んでいます。

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」が策定する「行動宣言」への賛同表明

当行は平成26年6月、佐久間頭取がコアメンバーとして参画する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」が策定・公表した「行動宣言」に賛同しました。

同会は女性の活躍推進に実践的に取り組む企業の男性リーダー9名が集まり、女性活躍推進に関する行動宣言を取りまとめ、これを社会に広く発信していくことを目的に発足したものです。



同会の行動宣言

自ら行動し、発信する

現状を打破する

ネットワーキングを進める

当行では「行動宣言」の3つの柱に沿って、女性の活躍の場を広げる取組みを進めています。

●女性活躍サポートチームの設置

仕事と育児の両立を実践してきた女性管理職が、さまざまな立場の女性と個別面談を行い女性職員の活躍をサポート

●女性の管理職等への積極登用

平成26年7月1日現在の女性管理職：76名、うち支店長等の職位者：46名

●女性のキャリア形成支援等を目的としたセミナーの開催

女性職員のキャリア形成支援やネットワーク構築を目的としたセミナー、男性管理職を交えた意見交換会を開催し、女性のキャリアアップ意欲を支援

●仕事と育児の両立支援

- ・育児休業者及びその配偶者を対象とした「職場復帰応援セミナー」の開催
- ・子を持つ女性行員向け座談会「ちばぎんママの会」の実施
- ・職場復帰プログラムの充実(インターネット自宅学習ツール、研修参加時の託児費用補助等)
- ・育児関連費用補助制度の導入、子の看護休暇の対象範囲拡大(小学校6年生まで)
- ・仕事と育児の両立に向け出勤時間を自己選択できる「セレクト勤務制度」の導入



コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスの徹底と顧客保護等管理態勢の強化に全力を傾けています。

コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスを全ての業務の基本に置き、銀行取引に係るさまざまな法令や、銀行内の諸規定はもちろん、社会生活を営むうえでのあらゆる法令やルールを遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を遂行していくことが重要と考え、全行をあげてコンプライアンス態勢の強化を継続的に行っています。

具体的には、頭取を委員長、複数の取締役・執行役員及び部長を委員とする「コンプライアンス委員会」を定期的開催し、コンプライアンス徹底のための具体的な実践計画や対応策等の検討を行っています。

「コンプライアンス部」では、コンプライアンス関連規定・マニュアルの管理、研修計画の立案・実施状況の確認、コンプライアンス徹底状況の定期的チェックなどを実施するほか、モニタリング等をつうじた営業店に対するチェック・指導を行っています。

基本方針の徹底

当行は、「千葉銀行の企業倫理」を定め、職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配付し、その徹底を図っています。

コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンス態勢を一層充実させるための具体的な実践計画として、「コンプライアンス・プログラム」を年度毎に取締役会において策定しています。同プログラムの実施状況は、取締役会及びコンプライアンス委員会において定期的に確認しています。

顧客保護・個人情報保護への取り組み

当行は、お客さまの保護と利便性の向上に向けて、全職員に誠実かつ公正な業務活動を行うよう指導・教育しています。特に、元本割れのリスクが内在している金融商品やデリバティブ取引につきましては、

金融商品取引法の遵守に加えて、「千葉銀行の勧誘方針」に則った適切な勧誘・販売を徹底するとともに、お客さまへのアフターフォローの充実を図っています。

お客さまからのご要望や苦情等につきましては、真摯に耳を傾け、万一の紛争等につきましては、金融ADR制度の趣旨を踏まえ適切に対応しています。

個人情報につきましても、お客さまからお預かりしている大切な財産と考え、「個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言(個人情報保護宣言)」に基づき厳格に管理しています。

金融ADR制度とは

金融分野における裁判外の紛争解決手続をいいます。中立・公正な第三者機関の関与により、裁判によらず簡便かつ迅速な紛争解決を図る手続です。当行は法令に基づく指定紛争解決機関である「一般社団法人全国銀行協会」及び「一般社団法人信託協会」と手続実施基本契約を締結しています。

マネー・ローンダリング防止・金融犯罪対策に向けた取組み

当行は、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針」に基づき、マネー・ローンダリング等の防止を徹底しています。また、さまざまな金融犯罪からお客さまを保護するための対策を強化しています。

反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み

当行は、警察当局や弁護士等の外部専門機関と連携し、反社会的勢力からの不当要求や介入その他の不適切な関与等に対して適切に対処する体制としています。

また、各種契約書や預金規定の「暴力団排除条項」を活用し、反社会的勢力との関係遮断に向けた取組みを積極的に進めています。

なお、グループ会社においても反社会的勢力との関係遮断に向けて当行と同様の取組みを進めており、その状況は、当行が統括・管理しています。

千葉銀行の企業倫理

(揺るぎない信頼の確保)

① 千葉銀行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼を確保していくことを宣言する。

(法令やルールなど基本原則の徹底した遵守)

② 千葉銀行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を遂行することを宣言する。

(反社会的勢力との関係遮断)

③ 千葉銀行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力や団体とは断固として対決し、関係遮断を徹底することを宣言する。

(透明な経営)

④ 千葉銀行は、経営情報の積極的かつ公正な開示を図り、透明な経営に徹することを宣言する。

千葉銀行の勧誘方針

当行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼の確保に努めております。また、当行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を実践しております。

当行は、この法令等遵守の姿勢を基本として、金融商品の販売等に係る勧誘に際しましても、次の方針を掲げ、日々の営業活動を実践してまいります。

① お客さまのこれまでの資産運用のご経験、保有されている金融資産などの状況、運用の目的や期間などに照らし、お客さまに適した商品をお勧めいたします。

② お客さまが、商品の内容や内包するリスクなどについて十分ご理解いただいたうえでお取引引きいただけますよう、資産運用のご判断に必要な事項のご説明や情報のご提供を行います。

③ 事実と異なる情報をご提供したり、商品の価格動向について断定的な判断をお示ししたりするなど、お客さまの誤解を招くような勧誘はいたしません。

④ お客さまのご都合を優先した勧誘を行います。

⑤ お客さまに質の高い金融サービスをご提供できますよう、職員の知識向上のための研修の充実に努めます。

⑥ お客さまからのご要望やご意見には、迅速かつ適切に対応いたします。

個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言

当行は、お客さまの個人情報の取り扱いにあたりましては、個人情報個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、次の方針を掲げ、お客さまの権利利益を保護するために、最善の配慮を行なってまいります。

① 個人情報の保護に関する法令やルールを厳格に遵守し、個人情報の適切な保護と利用を図ります。

② 法令等に特段の定めのある場合を除き、お客さまにお知らせした利用目的の達成に必要な範囲を超

えて、個人情報を利用いたしません。

③ 個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止その他の安全管理のため、必要かつ適切な安全管理措置を講じます。

④ 個人情報保護にかかる態勢を継続的に見直し、適時適切な改善を実施いたします。

⑤ お客さまからの個人情報の取り扱いに関するご意見につきましては、適切かつ迅速に対応いたします。

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針

当行は、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与(以下、これらを「マネー・ローンダリング等」といいます。)の防止について、その重要性を認識し、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な行内態勢を確保してまいります。

① 一元的な管理態勢の構築

マネー・ローンダリング等の防止にかかる責任者・担当者の役割及び責任を明確にし、関係部署の適切な連携のもとで一元的な管理を行います。

② 適切な事務取扱いの確保

取引時確認、資産凍結等の措置に係る確認、疑わ

しい取引の報告等、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な事務取扱いを整備し、確立します。

③ 適切な職員教育の実施

マネー・ローンダリング等の防止に関する研修等の職員教育を継続的に実施し、関係法令及び事務取扱いについて周知徹底を図ります。

④ 有効性の検証

マネー・ローンダリング等の防止に関する取組状況のモニタリングを行い、諸施策の有効性を検証し、管理態勢の充実強化を図ります。

コーポレート・ガバナンス

当行グループは、コーポレート・ガバナンスの強化・充実のため、以下のような体制を敷いています。

取締役会

社外取締役1名を含む11名の取締役で構成し、経営方針やその他重要事項を決定するとともに、取締役及び執行役員の業務執行を監督しています。

監査役

当行は監査役設置会社の形態を採用し、独立性の高い社外監査役3名(うち常勤監査役2名)を含む5名の監査役が、取締役会をはじめとする当行の重要会議に幅広く出席し、取締役等の職務執行状況を監視しています。

執行役員制度

当行は執行役員制度を採用し、取締役会により選任された執行役員が、担当部門の業務執行責任を負う体制としています。

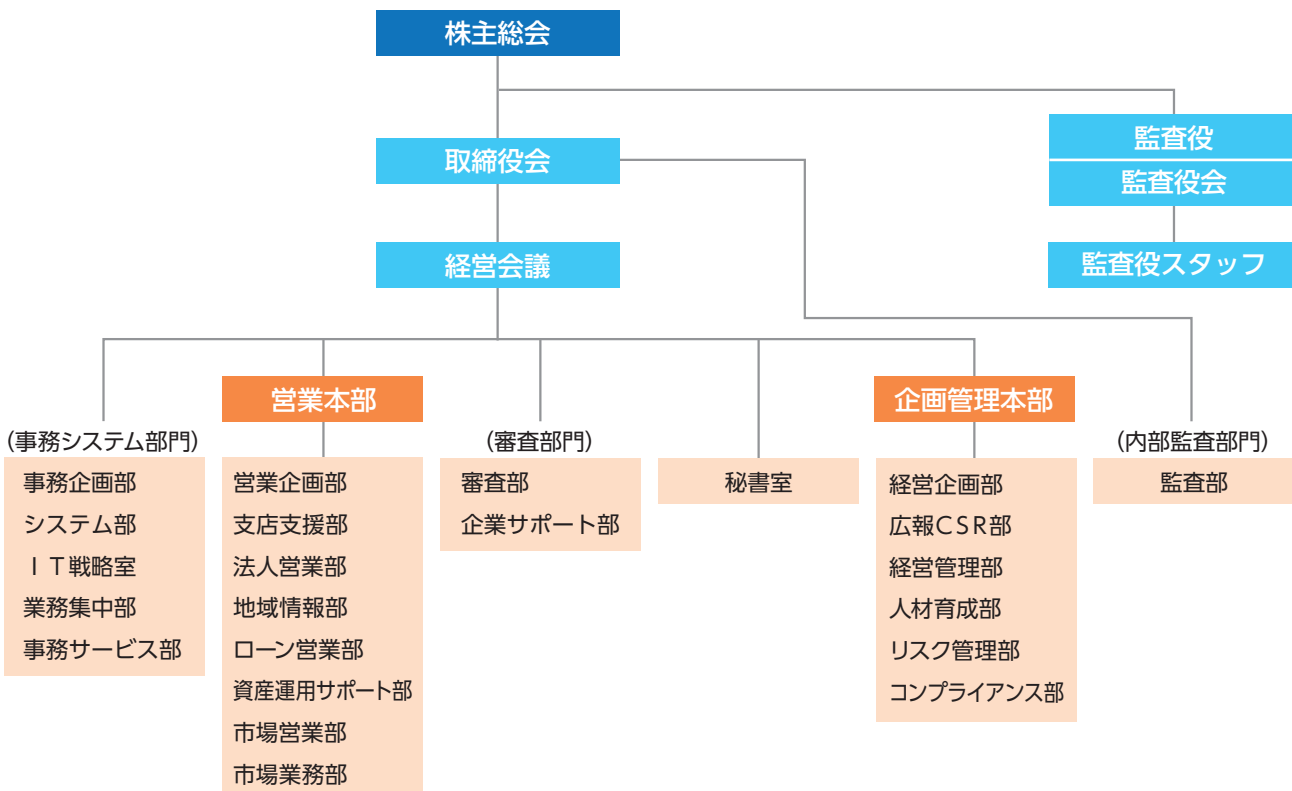
内部監査

被監査部門から独立した監査部門が、本部、営業店及び子会社の内部監査を年度毎に取締役会で決定する「内部監査計画」等に基づき実施しています。監査結果、指摘事項等は月次で取締役会に報告され、また、「内部監査委員会」で、コンプライアンス及びリスク管理上の問題点に対する改善策の検討が行われています。

グループ管理体制

当行の子会社各社は、当行のコンプライアンス規定、各種リスク管理規定等に準じて諸規定を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正性を確保しています。

コーポレート・ガバナンス体制図 (平成26年6月27日現在)



内部統制システムの整備に係る基本方針

当行は、業務の適正を確保する体制（内部統制システム）の整備に係る基本方針を次のとおり取締役会で定め、本方針に基づき、質の高い経営体制の構築に努めています。

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) 「千葉銀行の企業倫理」や「行動指針」を定めた「コンプライアンス規定」を制定し、役職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を通じ、その徹底を図る。
- (2) 市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力とは断固として対決し、関係を遮断する。
- (3) コンプライアンスに関する重要事項を審議する「コンプライアンス委員会」を設置するとともに、コンプライアンス統括部署を定める等、コンプライアンス体制を整備する。
- (4) コンプライアンス充実のための実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を定期的に策定して、これを実施する。
- (5) 取締役会は、コンプライアンスに関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にコンプライアンスに関する報告を受ける。
- (6) 監査役及び業務執行部門から独立した内部監査部署は、コンプライアンス体制の有効性及び適切性等、コンプライアンスに関する監査を行う。
- (7) 役職員の法令違反等に関する通報を職員等から直接受け付ける内部通報制度を設け、適切な運用を図る。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報については、法令の定めによるほか、行内規定により議事録・稟議書等の重要な文書等を適切かつ確実に保存・管理し、必要に応じて閲覧可能な状態を維持する。

3. 損失の危険の管理に関する規定その他の体制

- (1) 「リスク管理の基本方針」及び各種リスク管理規定を定め、各種リスクの管理部署及び当行全体のリスクの統合管理部署を明確にする等、リスク管理体制を整備する。
- (2) 取締役会は、リスク管理に関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にリスク管理に関する報告を受ける。
- (3) 監査役及び内部監査部署は、リスク管理体制の有効性及び適切性等、リスク管理に関する監査を行う。
- (4) 大規模災害、大規模システム障害等、不測の事態を想定した危機管理計画を策定し、必要に応じて訓練を実施する。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会において中期経営計画・営業施策等重要な職務の執行を決定するとともに、その進捗等について報告を受ける。
- (2) 取締役会決議により定める取締役にて構成する「経営会議」において、取締役の職務の執行に関する事項を幅広く協議する。

- (3) 執行役員制度の採用により、意思決定及び取締役の監督機能と、業務執行機能を分離し、意思決定及び業務執行の迅速化・効率化を図る。
- (4) 取締役の職務の執行については、「組織規定」、「職務権限規定」、「業務分掌規定」等において執行権限・執行手続等を定め、効率的な業務運営を図る。

5. 当行及びその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当行及びその子会社から成る企業集団（以下「当行グループ」という。）における業務の適正を確保するため、当行は子会社各社（以下「各社」という。）に対し、必要に応じて取締役及び監査役を派遣し、一体的な管理体制を整備する。
- (2) 各社は、当行のコンプライアンス規定、各種リスク管理規定等に準じて諸規定を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正を確保する。
- (3) 各社の重要な業務執行にあたっては、当行へ適時・適切に協議・報告を行う体制とするとともに、当行と各社の役員が定期的に意見交換を行い当行グループの経営課題について情報を共有化する。
- (4) 当行及び各社は、相互に不利益を与えないよう銀行法の定めるアームズレングスルールを遵守する。
- (5) 当行及び各社は、財務報告に係る内部統制規定を制定するとともに、内部統制統括部署を定める等、財務報告の信頼性確保のための体制を整備する。

6. 監査役を補助すべき使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

- (1) 監査役を補助すべき使用人として、監査役補助者を任命する。
- (2) 監査役補助者は業務執行に係る役職を兼務しないこととするとともに、人事異動等については、監査役の同意を得ることとし、取締役からの独立性を確保する。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制 その他の監査役への報告に関する体制

- (1) 取締役は、当行に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、直ちに監査役会に報告する。
- (2) 前記に関わらず、監査役会は必要に応じて、取締役及び使用人に対して報告を求めることができる。

8. その他監査役が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会ほか重要会議への出席、内部監査部署・会計監査人との連携等を通じ、監査役の監査の実効性を確保する。
- (2) 代表取締役は監査役と定期的に意見交換を行い、相互認識と信頼関係を維持する。

以上

リスク管理体制

当行ではリスクを正確に把握・分析し、管理・運営していくことが極めて重要であると認識し、リスク管理体制の強化・充実に取組んでいます。

統合的なリスク管理体制

銀行業務には、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクなどさまざまなリスクが存在します。

当行では、収益性を向上させ、かつ経営の健全性を維持していくためには、個々のリスクを別々に管理するだけでなく、これらのリスクを一元的に把握し、銀行全体として許容できる範囲内にコントロールしていくことが必要であると考えています。

そのため、リスク毎にグループ全体のリスクを管理する部署を定めていることに加え、「リスク管理部」がこれらのリスクを一元的に把握し、「ALM委員会」、「信用リスク管理委員会」及び「オペレーショナル・リスク管理委員会」の場できめ細かい管理や検討を行うとともに、リスクの状況について取締役会に報告し対応策を

検討・実施していく統合的なリスク管理体制を構築しています。

また、実効性のあるリスク管理体制を実現するため、リスク管理が適切に行われているかを「監査部」が定期的に監査し、取締役会に報告しています。

統合リスク管理

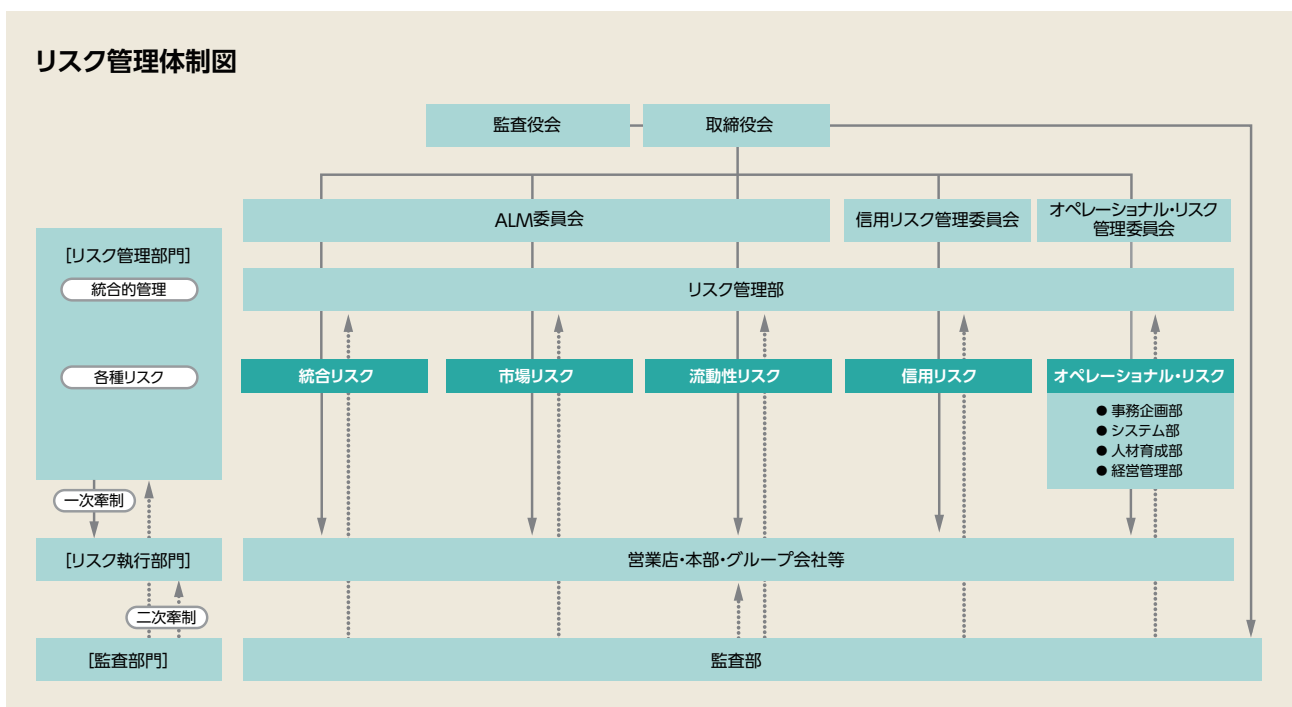
当行では、さまざまなリスクを可能な限り統一的な尺度で統合的に管理していくことを基本としています。統合リスクとは、リスクの計量化による管理が可能な信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを合算したものです。

統合的リスク管理部署である「リスク管理部リスク統括グループ」は、計量化した統合リスクと自己資本との比較を行うことで、リスクに対する自己資本の充実度を検証し、その結果を四半期

毎に取締役会に報告しているほか、ストレス・テストを実施しています。ストレス・テストとは、景気後退期に企業環境が悪化したり土地価格が下落したりなど、一定のストレス・シナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証することです。

また、統合リスク管理の具体的な枠組みとして、「リスク資本配賦制度」を導入しています。「リスク資本配賦制度」とは、経営体力である自己資本の範囲内で国内営業部門・市場部門といった部門別にリスク資本（許容リスク量）をあらかじめ配賦し、健全性の確保を図ったうえで、各部門が収益性の向上や効率的な資本の活用などリスク・リターンを意識した業務運営を行う仕組みのことです。

リスク管理体制図



信用リスク管理体制

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいい、銀行業務におけるリスクの多くを占めています。

当行では、「内部格付制度」を中心に厳正な信用リスク管理体制を構築し、個別与信管理と与信ポートフォリオ管理を行っています。また、資産の自己査定では、適正な償却・引当を実施するとともに、格付と連動した格付・自己査定システムにより、信用リスク管理の高度化を図っています。

あわせて、信用リスクに係る各部門は独立性を確保しています。具体的には、審査・管理部門が、与信部門（営業店及び営業部門）における個別案件の信用リスクを管理し、審査・管理部門及び与信部門から組織・業務が独立した「リスク管理部信用リスクグループ」が、信用リスク管理部署として信用リスク全体を統括管理します。「リスク管理部リスク統括グループ」は、統合的リスク管理部署として信用リスクを含めたすべてのリスクを統合的に管理し、さらに「監査部」は、監査部署として信用リスク管理に係る各部門の業務を監査します。

また、「信用リスク管理委員会」を定期的で開催し、信用リスク管理方針の検討、「内部格付制度」の運用状況及び与信ポートフォリオのモニタリングなどを行い、貸

信用リスク量とは

計量化により算出されるリスク量には、「期待損失」と「非期待損失」があり、「期待損失」は今後1年間に発生すると予想される損失額の平均的な水準を表し、「非期待損失」は今後1年間に予想される期待損失からの最大の振れ幅を表します。一般的に「期待損失」は引当金でカバーすべき部分、「非期待損失」は潜在的損失として自己資本でカバーすべき部分とされています。

出資産の健全性確保に努めています。

内部格付制度

当行では、「内部格付制度」により、企業の財務状況、資金繰りなどの財務データを基に、与信先を15区分の格付に分類しています。年1回の定期的な見直しに加え、企業の状況に応じて随時見直すことにより、信用リスク管理の原点である企業の実態把握と審査の充実に努めています。この「内部格付制度」を信用リスク管理の中心に位置付け、貸出金利のプライシングや融資の決裁権限など、実際の管理に幅広く活用しています。

個別与信管理

個別案件の審査は、与信の基本原則（安全性・収益性・流動性・成長性・公共性）のもと、営業店及び「審査部審査指導グループ」を中心に、審査基準に従った厳正な審査を行っています。また、「企業サポート部経営支援グループ」では経営改善が必要なお客さまの支援を行い、「企業サポート部債権管理グループ」では破綻先などの整理回収活動を行っています。こうした事前の審

査及び事後の管理をとおして優良な貸出資産の積み上げと損失の極小化を図っています。

与信ポートフォリオ管理

与信ポートフォリオ管理とは、個別与信が特定の国や業種に集中することなどにより、一時に大きな損失を被るリスクを管理していくものです。「リスク管理部信用リスクグループ」では、国別・業種別・格付別などのさまざまな角度から信用リスクの状況を把握し、与信上限額の設定など必要な対策を講じることにより、与信ポートフォリオの健全性向上に努めています。

与信ポートフォリオ管理においては、信用リスクの計量化に取り組んでいます。信用リスクの計量化とは、信用供与先の倒産や経営状況の悪化などにより発生が見込まれる将来の損失額（リスク量）を統計的手法により予測することです。当行では、リスク量としてVaR（想定最大損失額）を用い、計測を行っています。また、デフォルト・データやデフォルト先からの貸出金回収データなどの蓄積・整備を進めることで、計量化をより精緻化・高度化し、予測精度の向上を図っています。

リスク管理体制

さらに、計量結果を貸出金利のプライシングに活用することで、信用リスクを反映した適正な金利水準の確保に努めています。

資産の自己査定

自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することであり、銀行法に基づく「早期是正措置制度」により金融機関に義務付けられています。「早期是正措置制度」とは、金融機関の自己資本比率の状況に応じて行政措置が発動される制度で、正確な自己資本比率算出のためには、適正な償却・引当を行い資産内容の実態をできる限り客観的に反映した財務諸表を作成することが前提になります。

当行では、「資産自己査定規定」に基づいて営業店が資産の自己

査定を実施し、その内容を審査・管理部門がチェックしています。その後「監査部業務・資産監査グループ」が自己査定結果やプロセスの正確性について、監査を実施しています。また、この結果に基づいて、「リスク管理部信用リスクグループ」が引当額の算定を行い、「企業サポート部債権管理グループ」が償却を実施し、その後「監査部業務・資産監査グループ」が監査を実施しています。このようなプロセスをつうじて当行は資産の健全性を堅持しています。

市場リスク管理体制

市場リスクとは、金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクをいいます。

当行では、市場リスクについてALM管理体制を導入しています。

「ALM委員会」を定期的開催し、金利リスク、為替リスク及び価格変動リスクなどについて、きめ細かい対応策を協議・決定し、市場リスク全体のリスク管理を行っています。

具体的には、「リスク資本配賦制度」の一環として、部門毎に配賦されたリスク資本の範囲内で、有価証券投資などの市場性取引や預貸金といった商品毎のVaR（想定最大損失額）に基づく市場リスク量に対し、上限ガイドラインを設定し管理することで健全性の確保に努めています。また、市場性取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、残高による運用上限枠や評価損益アラームポイントなども設定しており、四半期毎に投資方針を見直すことでリスクのコントロールを行っています。

市場部門の組織については、

市場リスクのVaR(単体)の状況

(単位：百万円)

	バンキング	トレーディング
平成25年 3月末	111,623	23
平成25年度中の状況		
平成25年 6月末	143,904	34
9月末	167,669	51
12月末	195,478	46
平成26年 3月末	185,024	33
最大	195,478	228
最小	125,066	22
平均	164,889	92

●VaRの計測手法

モデル：分散・共分散法
 信頼水準：99.9%
 観測期間：1年（240営業日）
 保有期間：バンキングは1年、
 トレーディングは10日

取引執行部署(フロントオフィス:「市場営業部」、海外店)と業務管理部署(バックオフィス:「市場業務部」)を分離し、さらにリスク管理部署(ミドルオフィス:「リスク管理部市場リスクグループ」)を設置することで、相互に牽制する体制をとっています。

流動性リスク管理体制

流動性リスクは、資金繰りリスクと市場流動性リスクからなります。資金繰りリスクとは、金融機関の財務内容の悪化などにより必要な資金が確保できなくなり、資金繰りがつかなくなる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。また、市場流動性リスクとは、市場の混乱などにより市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。

当行では、「市場営業部」が資金繰り管理部署として、マーケット環境の把握、資金の運用調達状況の分析などを行っており、資金繰りリスクに対しては、市場調達額が過大とならないように一定の限度額を設定しているほか、短期間で資金化できる資産を流動性準備として一定水準以上保有するよう定めることなどで、日々適切な資金繰り管理を実施しています。また、市場流動性リスクに対しては、各市場取引に

おけるポジション限度枠の設定により対応しています。

「リスク管理部市場リスクグループ」は、リスク管理部署として、流動性リスクに与えるさまざまな要因を特定・評価するとともに、各種限度枠などの遵守状況についてモニタリングし、流動性リスクの増大を招かないよう努めています。

また、市場リスクと同様に、流動性リスクについても、「ALM委員会」の場で対応策を協議・決定しています。

なお、当行の資金繰りに影響を及ぼすような不測の事態が発生した場合も全行的に速やかに対処できるよう、業務継続計画を制定し、万全を期しています。

オペレーショナル・リスク管理体制

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生し得るリスクのことをいいます。

当行では、オペレーショナル・リスクを、事務リスク(次頁)、システムリスク(次頁)、人的リスク、有形資産リスク、風評リスクに分類しています。人的リスクとは、職場の安全環境や差別行為などに起因して損失が発生するリスクをいい、有形資産リスクとは、建物・設備の毀損などにより損失が発生するリスクをいいます。また、風評リスクとは、評判の悪化など

により信用が低下することから損失が発生するリスクをいいます。

リスク管理体制については、各リスク所管部署(事務リスク:「事務企画部」、システムリスク:「システム部」、人的リスク:「人材育成部」、有形資産リスク:「経営管理部」)を定めるとともに、「リスク管理部リスク統括グループ」をリスク統括部署とし、同グループ統括管理のもと、連携してリスク管理を行っています。なお、風評リスクについては、「リスク管理部リスク統括グループ」が直接管理し、また、各リスクに含まれる法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては、各リスク所管部署と「コンプライアンス部」が連携して管理します。

また、「オペレーショナル・リスク管理委員会」を設置し、経営の直接関与のもと、オペレーショナル・リスク損失事象などに関する報告を受け管理方針を策定し(Plan)、管理規定類に則った実施(Do)、また評価・改善(Check&Action)していくという、「PDCAサイクル」により、問題点の改善・是正を行う管理体制を構築しています。この一連の「PDCAサイクル」による管理の実効性確保のため、当行では、リスクの内容を特定・評価・把握・管理し、かつ削減するための方策を策定して実施するというCSA(Control Self Assessment)を導入しています。CSAによる管理とは、当行で生じたオペレー

リスク管理体制

シヨナル・リスク損失事象に対応するとともに、他行や他業態で発生した損失事象を踏まえて、当行の管理体制で十分かどうかを評価し、必要に応じて対策を打つことで、未然にリスク顕在化を防止するというものです。

事務リスク管理体制

事務リスクとは、正確な事務を怠ったり、事故・不正などを起こす、またはお客さまに対する職務上の義務や説明などを怠ることによって損失を被るリスクです。

お客さまから信用を得るためには正確な事務処理が不可欠と考え、当行では「事務企画部」が中心となり、基本に則った厳正な事務を行い、事故の未然防止に努めています。

具体的には、業務毎に詳細な事務手順を示した事務基準を制定しているほか、現金・手形・通帳など重要物の厳正な取扱いの徹底、営業店や本部の事務管理体制の指導、事務水準向上のための研修を行っています。

また、各営業店で実施している自店検査についても、「事務企画部」がモニタリングや検証を実施することにより、事務の正確性確保と事務水準の向上に努めています。

監査体制としては、「監査部」がすべての営業店及び本部各部・室に原則として年1回以上立ち入り、基準に従って業務全般にわたる厳格な監査を実施しています。

これらの結果を各営業店、部・室に遅滞なく通知するとともに、取締役会で定期的に報告し、業務改善に反映できる仕組みとしています。

システムリスク管理体制

システムリスクとは、当行が保有している情報の漏洩や改ざん、コンピュータシステムの不正使用や停止・誤作動といった障害などに伴い損失を被るリスクです。

当行は、お客さまのお取引データなどさまざまな情報を保有しており、その情報を処理するためのシステムを構築しています。お客さまにさまざまなサービスを提供していくためにも、銀行業務におけるコンピュータシステムの役割は年々高まっており、システムリスクが顕在化した場合には、お客さまに多大なご迷惑をおかけすることにもなりかねません。このため、システムリスク管理の重要性は、ますます増大しているといえます。

当行では、「システム部」が中心となり、コンピュータシステムの安定稼働のためにさまざまな対策を講じています。具体的には、勘定系・情報系などの基幹システムについてはハードウェアや回線を二重化し、障害時には速やかにもう一方に切り替えて業務を継続できる仕組みとしているほか、各部署が個々に使用しているシステムを含めたすべてのコンピュータシステムについて、デー

タの厳正な管理、不正アクセスやウイルスの侵入防止、さらには大規模災害など不測の事態に備えたコンティンジェンシープランを整備し、万全を期しています。

また、「監査部」がコンピュータシステム全般の監査を実施しています。

業務継続体制

以上のリスク管理体制に加えて、地震等の自然災害やパンデミックといった不測の緊急事態が発生した場合においても、金融システム機能の維持に必要な業務を継続すること、中断を余儀なくされた場合には速やかに復旧することを目的に、「リスク管理部リスク統括グループ」が中心となり、業務継続体制を整備しています。

現在、首都直下地震等の大規模地震の他、複合災害として津波や火山噴火等の多様なリスクへの対策を行うなど、管理態勢の高度化を図っています。

バーゼルⅢへの対応

平成25年3月期より、バーゼルⅢによる自己資本比率規制が適用開始となりました。当該規制では、従来のバーゼルⅡに対し、資本算入要件の厳格化・資本控除項目の拡大による自己資本の質の強化や大規模金融機関向け取引・デリバティブ取引に関するリスクの追加捕捉などの見直しがなされたほか、自己資本比率は、

総自己資本比率・Tier1比率・普通株式等Tier1比率の3つの比率それぞれで、最低水準を上回ることが求められます。バーゼルⅢによる自己資本比率規制は、リスクに対する自己資本の充実度を計測する最低所要自己資本比率を「第1の柱」とし、銀行自身による自己資本戦略の策定及び監督当局による検証を「第2の柱」とし、ディスクロージャーの充実をつうじた市場規律の確保を「第3の柱」とする3つの柱から構成されます。また、所要自己資本の計算方法は、リスクの状況や管理手法に応じて

銀行が選択します。

当行では、「内部管理の高度化をつうじて業容を拡大する」ことを基本方針とし、統合的なリスク管理体制高度化の一環として、バーゼルⅢに対応しています。所要自己資本の計算では、信用リスクについては「基礎的内部格付手法」、オペレーショナル・リスクについては「粗利益配分手法」（いずれも監督当局による承認が必要な手法）を採用しており、リスクをより精緻に自己資本比率に反映させています。

また、「第3の柱」として、本ディ

スクロージャー誌別冊資料編「財務データ及び自己資本の充実の状況等に係る説明資料」に、リスク管理の詳細（「内部格付制度」など）を含めた当行の自己資本の充実の状況を開示しています。

なお、バーゼルⅢでは今後、レバレッジ比率や流動性比率（流動性カバレッジ比率・安定調達比率）などの新たな規制の適用が予定されており、これら規制の適用を見据え、現在、管理体制の整備・強化に取り組んでいます。

バーゼルⅢ自己資本比率規制（国際統一基準）

自己資本比率は、以下の3つの比率から構成され、それぞれについて、最低水準を上回ることが求められます。

・ 総自己資本比率	$\frac{\text{総自己資本(Tier1+Tier2(劣後債・劣後ローン等))}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5} \geq 8.0\%$
・ Tier1比率	$\frac{\text{Tier1(普通株式等Tier1+その他Tier1(優先株式等))}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5} \geq 6.0\% (5.5\%^{*2})$
・ 普通株式等Tier1比率	$\frac{\text{普通株式等Tier1(普通株式+内部留保等)}}{\text{所要自己資本}^{*1} \times 12.5} \geq 4.5\% (4.0\%^{*2})$

※1 所要自己資本の算出式は、以下のとおりです。

$$\text{所要自己資本} = \text{信用リスク} + \text{マーケット・リスク} + \text{オペレーショナル・リスク}$$

銀行が以下の2つから自ら適する手法を選択します。

- 「標準的手法」 (外部格付を利用し旧規制(バーゼルI)を一部修正した手法)
- 「内部格付手法」 (行内格付を利用して借り手のリスクをより精緻に反映する手法)
 - ・「基礎的内部格付手法」 (デフォルト率を銀行が推計)
 - ・「先進的内部格付手法」 (デフォルト時損失率なども銀行が推計)

事務事故、システム障害、不正行為などで損失が生じるリスクです。銀行が以下の3つから自ら適する手法を選択します。

- 「基礎的手法」 (銀行全体の粗利益を基準に計測する手法)
- 「粗利益配分手法」 (業務毎の粗利益を基準に計測する手法)
- 「先進的計測手法」 (過去の損失実績などを基に計測する手法)

※2 平成26年3月期におけるTier1比率、普通株式等Tier1比率の最低水準は、段階適用により、それぞれ[5.5%]、[4.0%]です。

主要な業務内容

預金業務

(1) 預金

当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っております。

(2) 譲渡性預金

譲渡可能な預金を取扱っております。

貸出業務

(1) 貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。

(2) 手形・でんさいの割引

銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形及びでんさいの割引を取扱っております。

証券業務

(1) 国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売、保護預り・口座管理

(2) 国債等公共債の引受・売買

(3) コマーシャル・ペーパーなどの取扱い

(4) 金融商品仲介業務

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、振込及び代金取立等を取扱っております。

外国為替業務

輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。

社債受託及び発行・支払代理人業務

担保附社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び発行・支払代理人業務に関する業務を行っております。

信託業務及び相続関連業務

信託業務（土地信託・公益信託・特定贈与信託）、相続業務（遺言信託・遺産整理業務）及びそれに関連する業務（遺言作成サポートサービス・経営承継サポートサービス）を取扱っております。

確定拠出年金運営管理業務

確定拠出年金法における運営管理業務を行っております。

その他の附帯業務

(1) 代理業務

- ① 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店
- ② 地方公共団体の公金取扱業務
- ③ 勤労者退職金共済機構等の代理店業務
- ④ 株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
- ⑤ 中小企業金融公庫等の代理貸付業務
- ⑥ 信託契約代理業務
- ⑦ 保険代理店業務

(2) 保護預り及び貸金庫業務

(3) 有価証券の貸付

(4) 債務の保証(支払承諾)

(5) 金の売買

(6) 金利、通貨、商品等のデリバティブ取引等

(7) クレジットカード業務

役員及び組織

役員一覧 (平成26年6月27日現在)

取締役

取締役頭取 (代表取締役)	佐久間 英 利
取締役副頭取 (代表取締役)	花 島 恭 一
取締役専務執行役員	大久保 壽 一
取締役専務執行役員	木 村 理 雄
取締役常務執行役員	森 本 昌 雄
取締役常務執行役員	野 村 徹 一
取締役常務執行役員	波多野 彰 一
取締役常務執行役員	谷 口 英 治
取締役常務執行役員	大和久 雅 弘
取締役常務執行役員	澤 井 謙 一
非常勤取締役 (社外取締役)	矢 崎 豊 國

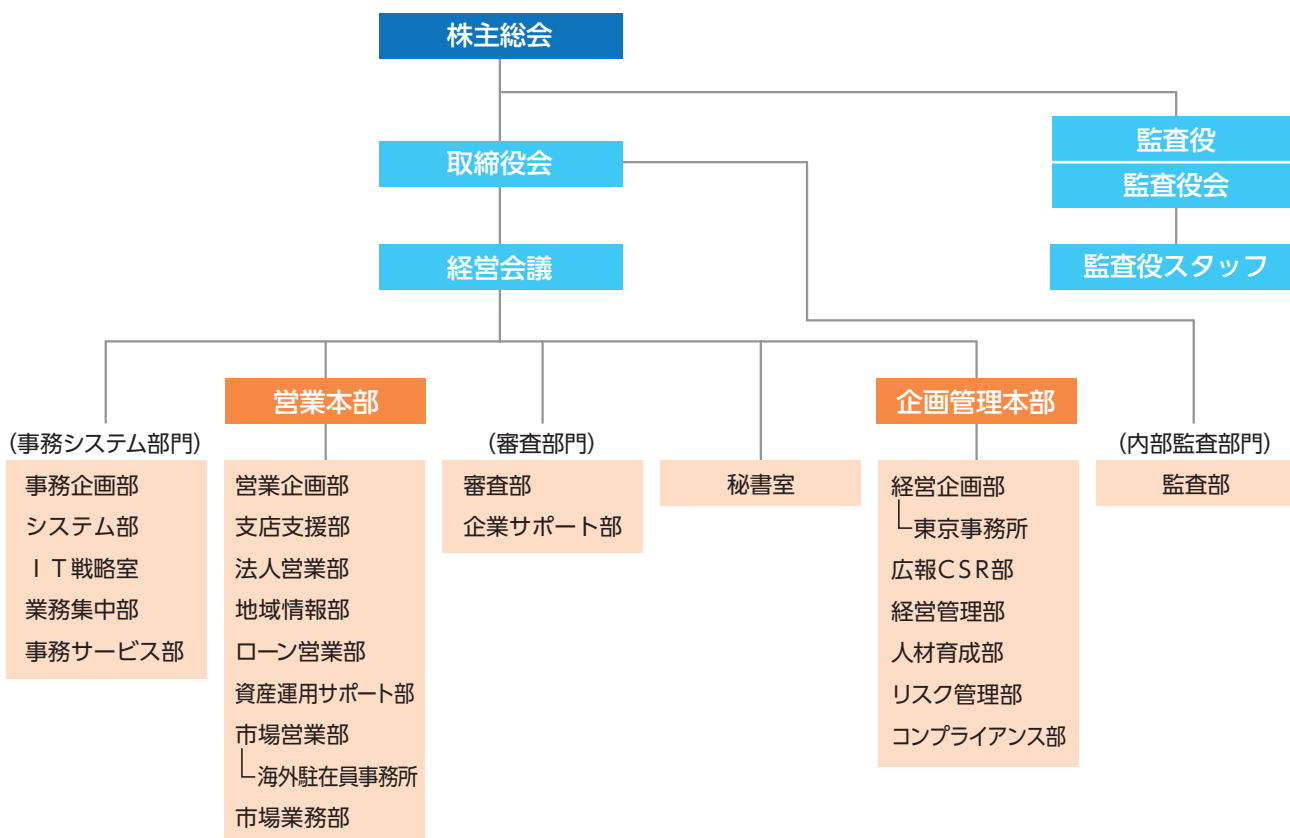
執行役員

常務執行役員 (本店営業部長)	太 田 雅 美
常務執行役員 (東京営業部長)	杉 山 雅 明
執行役員 (船橋支店長)	吉 田 幸 宏
執行役員 (監 査 部 長)	福 島 幸 一 嘉
執行役員 (広報CSR部長)	池 田 大 三
執行役員 (人材育成部長)	飯 嶋 倉 浩
執行役員 (コンプライアンス部長)	片 倉 新 二
執行役員 (中央支店長)	木 原 和 彦
執行役員 (支店支援部長)	水 嶋 生 譲
執行役員 (審 査 部 長)	菅 生 二 彦

監査役

常勤監査役	野 澤 務
常勤監査役 (社外監査役)	山 添 和 雄
常勤監査役 (社外監査役)	福 田 一 雄
非常勤監査役	丸 山 進
非常勤監査役 (社外監査役)	白 戸 章 雄

組織図 (平成26年6月27日現在)



ネットワーク等のご案内

店舗・キャッシュコーナー一覧 (平成26年6月30日現在)

地区	本・支店
県内	159(特別出張所5、出張所14、仮想店舗2)
県外	19(東京都12、大阪府1、埼玉県3、茨城県3)
海外	3(ニューヨーク、香港、ロンドン)
計	181

- 海外駐在員事務所 2(上海、シンガポール)
- 両替出張所 3

千葉県	
千葉市	
【中央区】	
100	本店 [本店営業部] 買現 043-245-1111
025	京成駅前支店 買 043-227-7351
004	県庁支店 買現 043-227-5361
006	蘇我支店 買現 043-265-2241
026	千葉駅前支店 現 043-227-8501
001	中央支店 買現 043-222-8111
	ちばぎんコンサルティング プラザ千葉 [中央支店千葉プラザ出張所] 043-227-5211
005	長洲支店 買 043-227-6421
076	本店営業部 千葉市役所出張所 043-247-0991
034	松ヶ丘支店 買 043-261-5421
店舗外キャッシュコーナー	
祝	イトーヨーカドー蘇我店 店1階
土	井上記念病院 病院1階ロビー
	がんセンター 千葉県がんセンター前
	県庁本庁舎 本庁舎5階
祝	JR蘇我駅西口 JR蘇我駅西口
祝	JR千葉駅 ペリエ千葉京成千葉駅側
祝	JR千葉駅西口 JR千葉駅西口改札付近
祝	JR本千葉駅前 JR本千葉駅前
	千葉県警察本部 庁舎1階
	千葉市立青葉病院 病院1階ロビー
祝	千葉そごう2号 そごう千葉店オーロラモール4階
祝	千葉そごう3号 そごう千葉店本館8階
祝	千葉大学医学部附属病院 病院地下1階派出内
祝	千葉都市モノレール千葉駅 千葉都市モノレール千葉駅3階改札前
祝	千葉三越 地下2階プライダルセンター隣
祝	西千葉 JR西千葉駅北口前
祝	マルエツ蘇我南町店 店1階
祝	リブレ京成千葉寺店 店1階

外国為替のご利用について

- 買現 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- 買 … 一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- 土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

【稲毛区】	
003	稲毛支店 買現 043-243-9191
036	稲毛支店 あやめ台特別出張所 043-253-6001
114	稲毛東口支店 買 043-284-8111
063	中央支店 穴川特別出張所 043-255-3811
店舗外キャッシュコーナー	
祝	ヴィルフォーレ稲毛 ヴィルフォーレ稲毛京成バス停前
	千葉大学 総合学生支援センター内
祝	マルエツみどり台店 1階入口前
祝	宮野木 京成団地バス停近く
【花見川区】	
047	新検見川支店 買 043-271-0131
002	幕張支店 買 043-273-7111
113	幕張本郷支店 買 043-297-2011
店舗外キャッシュコーナー	
祝	イトーヨーカドー幕張店 1階入口前
祝	サミットストア花見川店 区役所隣店1階
祝	JR新検見川駅 JR新検見川駅改札前
祝	JR幕張駅北口駅前 JR幕張駅北口駅前
祝	ライフ宮野木店 県道実籾穴川線沿い店入口隣
【緑区】	
092	鎌取支店 買現 043-291-5611
106	とけ支店 買 043-294-8121
085	誉田支店 買 043-291-0555
店舗外キャッシュコーナー	
祝	イオンおゆみ野ショッピングセンター 商業施設1階
祝	イオン鎌取店 店1階
祝	せんだう土気店 駐車場内
	千葉県こども病院 病院前
祝	ヤオコーおゆみ野店 しのぼり公園バス停前
【美浜区】	
071	新稲毛支店 現 043-277-3011

■ … 貿易取扱店
■ … 外貨現金取扱店
■ … 一般店 (外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

⊕ 土曜日も稼働 (日・祝日は稼働いたしません)
⊕ 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

040	本店営業部 幸町特別出張所	千葉市美浜区幸町2-24-27 〒261-0001 (国道14号沿い幸町団地内)	043-241-5335
111	幕張新都心支店	千葉市美浜区中瀬2-6-1 〒261-7102 (ワールドビジネスガーデンマリブアネックス2階)	043-297-7890
065	真砂支店	千葉市美浜区真砂4-1-5 〒261-0011 (JR検見川浜駅前ショッピングセンターPIA 1階)	043-279-8111

店舗外キャッシュコーナー			
祝	イオンモール幕張新都心	グランドモール1階	
祝	キッツビル	ビル2階	
	千葉市立海浜病院	病院1階ロビー	
祝	千葉高洲	高洲第1団地内	
祝	パティオス5番街	幕張ベイタウンパティオス5番街	
祝	幕張テクノガーデン	B棟2階	
祝	マリソピア	JR稲毛海岸駅前マリソピア1階	
祝	メッセ・アミューズ・モール	メッセ・アミューズ・モール1階	

[若葉区]			
055	大宮台支店	千葉市若葉区大宮台1-12-5 〒264-0015 (大宮台団地バス停前)	043-266-4311
064	千城台支店	千葉市若葉区千城台西1-1-1 〒264-0004 (モノレール千城台北駅前)	043-236-1111
051	都賀支店	千葉市若葉区都賀3-14-3 〒264-0025 (JR・モノレール都賀駅前)	043-232-2551
061	みつわ台支店	千葉市若葉区みつわ台3-11-2 〒264-0032 (モノレールみつわ台駅前)	043-255-3131

店舗外キャッシュコーナー			
祝	小倉台	モノレール小倉台駅前	
祝	桜木町	国道51号沿い市営公園ななめ前	
祝	西友都賀店	駐車場内	
祝	東寺山ショッピングセンター	ショッピングセンター内	
祝	ラパーク千城台	店1階	

旭市

265	旭支店	旭市口827-1 〒289-2516 (塚前十字路)	0479-62-2111
-----	-----	-------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー			
	旭市役所	市役所1階	
祝	旭ショッピングセンターサンモール	サンモール1階	
祝	旭中央病院	病院1階	

我孫子市

007	我孫子支店	我孫子市本町2-2-16 〒270-1151 (JR我孫子駅前)	04-7182-3111
110	湖北支店	我孫子市湖北台1-18-1 〒270-1132 (JR湖北駅南口)	04-7187-3531
097	天王台支店	我孫子市柴崎台1-9-1 〒270-1176 (JR天王台駅北口)	04-7184-5351

店舗外キャッシュコーナー			
祝	アビクオーレ	JR我孫子駅前イトーヨーカドー1階	
⊕	我孫子市役所	市役所正面入口横	
祝	あびこショッピングプラザ	店3階	
祝	布佐	県道千葉電ヶ崎線沿い	

いすみ市

244	大原支店	いすみ市大原8666 〒298-0004 (仲町通り)	0470-62-1211
245	長者支店	いすみ市岬町長者488-1 〒299-4616 (長者本通り)	0470-87-2431

市川市

011	市川支店	市川市市川1-7-12 〒272-0034 (JR市川駅前)	047-322-0161
089	市川支店 市川市役所出張所	市川市八幡1-1-1 〒272-0021 (市川市役所1階)	047-334-1568
046	行徳支店	市川市行徳駅前2-14-1 〒272-0133 (東西線行徳駅前)	047-397-7111
091	南行徳支店	市川市相之川4-8-5 〒272-0143 (東西線南行徳駅前)	047-358-4001
012	本八幡支店	市川市八幡3-3-2-105 〒272-0021 (グランドターミナルタワー本八幡1・2階)	047-322-0181
	ちばぎんコンサルティング プラザ市川	市川市八幡3-3-2-201 〒272-0021 (グランドターミナルタワー本八幡2階) (本八幡支店市川プラザ出張所)	047-321-1001
109	本八幡南支店	市川市南八幡4-17-2 〒272-0023 (JR本八幡駅南口駅前通り)	047-377-8751

店舗外キャッシュコーナー			
祝	市川大野駅前ビル	JR市川大野駅前ビル	
祝	イオン市川妙典店	1番街1階	
祝	北方STハイツビル	鬼越北方税務署通り	
祝	京成国府台駅前	京成国府台駅前通り	
祝	国分	県道鎌ヶ谷市川線沿い国分小学校近く	
祝	JR市川駅	JR市川駅構内キヨスク隣	
祝	JR本八幡駅前パティオ	1階入口隣	
祝	西友新浜店	店1階	
	東京歯科大学市川総合病院	病院1階ロビー	
祝	ニッケコルトンプラザ	2階シャトルバス乗り場前	
祝	若宮	若栄会通り	

市原市

203	姉崎支店	市原市姉崎484-1 〒299-0111 (JR姉ヶ崎駅前)	0436-61-1145
204	牛久支店	市原市牛久1210-1 〒290-0225 (小湊鉄道上総牛久駅前商店街)	0436-92-1211
202	五井支店	市原市五井中央西2-7-1 〒290-0081 (JR五井駅西口前)	0436-21-2141
214	五井支店 市原市役所出張所	市原市国分寺台中央1-1-1 〒290-8501 (市原市役所1階)	0436-21-6611
216	辰巳台支店	市原市辰巳台東1-1-2 〒290-0003 (辰巳台団地内)	0436-74-5551
132	ちはら台支店	市原市ちはら台西5-5-1 〒290-0143 (ちはら台公園向かい)	0436-76-0561
201	八幡支店	市原市八幡1059-22 〒290-0062 (JR八幡宿駅前)	0436-41-1331

ネットワーク等のご案内

店舗外キャッシュコーナー		
祝	アピタ市原店	1階入口
祝	泉台	泉台団地入口
祝	イトーヨーカドー姉崎店	店1階
祝	五井白金通り	五井病院交差点付近
祝	馬立	国道297号線馬立新水神橋際
祝	桜台	桜台団地入口Aコープ前
祝	JR姉ヶ崎駅	JR姉ヶ崎駅西口
祝	JR五井駅東口	JR五井駅東口駅前
祝	スーパーたかはし	駐車場内
祝	せんだう国分寺台店	店入口右側
祝	せんだう千原台店	帝京平成短大前
祝	マックスパリュ辰巳台店	店1階
祝	ユニモちはら台	店1階

印西市

285	印西支店	印西市大森3877 〒270-1327 (木下街道沿い)	0476-42-3227
134	印西牧の原支店	印西市牧の原1-3 〒270-1331 (北総線印西牧の原駅前)	0476-47-1901
296	千葉ニュータウン支店	印西市中央南1-5-1 〒270-1340 (北総線千葉ニュータウン中央駅前)	0476-46-1511

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオン千葉ニュータウンショッピングセンター	イオン棟1階
祝	印西市役所	市役所駐車場内
祝	小林	JR小林駅前
祝	千葉ニュータウン中央駅北口	北口ロータリー
祝	ナリタヤ印旛日本医大前店	店1階
祝	日本医科大学付属千葉北総病院	病院1階
祝	牧の原MORE	フードコート脇

浦安市

013	浦安支店	浦安市北栄1-16-8 〒279-0002 (東西線浦安駅前)	047-351-2141
072	新浦安支店	浦安市入船1-5-1 〒279-0012 (JR新浦安駅前)	047-354-2011

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イクスピアリ	店2階
祝	イトーヨーカドー新浦安店	店1階
祝	JR舞浜駅	JR舞浜駅構内
祝	マルエツ浦安店前	市道大三角線沿いマルエツ前

大網白里市

249	大網支店	大網白里市駒込444-1 〒299-3235 (JR大網駅前通り)	0475-72-1181
-----	------	--------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	大網白里市役所	市役所入口
祝	大網白里ショッピングセンター	センター1階
祝	ベイシア大網白里店	店舗入口横

柏市

008	柏支店	柏市中央1-1-1 〒277-0023 (JR柏駅東口・旧水戸街道交差点)	04-7167-0111
-----	-----	--	--------------

081	柏支店柏市役所出張所	柏市柏5-10-1 〒277-0005 (柏市役所第2庁舎2階)	04-7166-5390
祝	ちばぎんコンサルティング プラザ柏 (柏支店柏プラザ出張所)	柏市柏1-1-21 〒277-0005 (JR柏駅東口前そごう柏店2階)	04-7160-1311
祝	柏支店 柏ローンプラザ出張所	柏市中央1-1-1 〒277-0023 (ちばぎん柏ビル5階)	04-7163-7111
098	柏支店沼南出張所	柏市大津ヶ丘1-56-21 〒277-0921 (柏市沼南庁舎近く)	04-7191-6451
052	柏西口支店	柏市末広町5-19 〒277-0842 (JR柏駅西口交差点)	04-7143-2221
028	柏西口支店 豊四季特別出張所	柏市豊四季台1-1-115 〒277-0845 (豊四季台団地・管理事務所前)	04-7143-6161
122	柏の葉キャンパス支店	柏市若柴174 〒277-0871 (TXアベニュー柏の葉内)	04-7131-1971
087	花野井支店	柏市花野井681 〒277-0812 (柏市総合卸売市場前)	04-7131-7121
059	増尾支店	柏市加賀3-24-15 〒277-0051 (東武野田線増尾駅前)	04-7174-7111
074	南柏支店	柏市今谷上町45-1 〒277-0074 (JR南柏駅東口・今谷交差点)	04-7173-6111

店舗外キャッシュコーナー		
祝	イオン柏ショッピングセンター	店1階
祝	いなげや南増尾店	北側駐車場
祝	柏駅前	JR柏駅東口柏そごう2階
祝	北柏駅前	JR北柏駅前
祝	東武ストア新柏店	東武野田線新柏駅前店隣
祝	光ヶ丘	東武光ヶ丘バス停前マツモトキヨシ内
祝	南柏駅西口	JR南柏駅西口
祝	ららぽーと柏の葉	店1階
祝	セレクトショップしいの木台店	駐車場側店入口
祝	麗澤大学	大学構内研究室棟隣

勝浦市

242	勝浦支店	勝浦市墨名725-3 〒299-5225 (墨名交差点)	0470-73-1121
-----	------	---------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー		
祝	興津	JR上総興津駅前通り
祝	国際武道大学	大学構内

香取市

282	小見川支店	香取市小見川268-1 〒289-0313 (本町通り)	0478-82-2131
283	佐原支店	香取市佐原イ586-5 〒287-0003 (横宿通り)	0478-54-1211

店舗外キャッシュコーナー		
祝	小見川区事務所	区事務所1階ロビー
祝	香取市役所	市役所入口前
祝	サワラシティ	ショッピングモール1階

■ … 貿易取扱店
■ … 外貨現金取扱店
■ … 一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

■ 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
■ 土・日・祝日も稼働/無印は平日のみ稼働

鎌ヶ谷市

043 鎌ヶ谷支店 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-8-17 〒273-0107
(新鎌ヶ谷Fタワー1・2階) 047-444-2111

店舗外キャッシュコーナー	
祝	イオン鎌ヶ谷ショッピングセンター 店1階
	鎌ヶ谷市役所 市役所1階
祝	鎌ヶ谷大仏駅 新京成鎌ヶ谷大仏駅構内
祝	くぬぎ山 新京成くぬぎ山駅西口
祝	東武鎌ヶ谷駅 東武野田線鎌ヶ谷駅西口
祝	馬込沢駅前 東武野田線馬込沢駅東口正面
祝	マツモトキヨシ鎌ヶ谷店 店入口前
祝	鎌ヶ谷中央 鎌ヶ谷中学校通り

鴨川市

231 天津支店 鴨川市横渚943-1 〒296-0001
(鴨川支店内(店舗内店舗)) 04-7092-1211

229 鴨川支店 鴨川市横渚943-1 〒296-0001
(JR安房鴨川駅前) 04-7092-1211

店舗外キャッシュコーナー	
祝	天津 国道128号沿い
	鴨川市役所 入口正面
祝	ベシア鴨川店 正面入口隣

木更津市

205 木更津支店 木更津市大和1-2-4 〒292-0805
(JR木更津駅東口駅前通り) 0438-23-8181

212 木更津東支店 木更津市ほたる野4-4-9 〒292-0038
(アピタ木更津店並び) 0438-98-9701

店舗外キャッシュコーナー	
祝	アクア木更津 アクア木更津1階
祝	イオン木更津店 駐車場内
祝	イオンタウン木更津請西 休憩コーナー内
祝	いなげや木更津請西店 店舗内入口付近
	木更津市役所 市役所2階ロビー
祝	ひまわり憩いの広場 本町通り(旧木更津支店敷地)
祝	三井アウトレットパーク木更津 総合案内所裏

君津市

213 君津支店 君津市東坂田1-2-13 〒299-1144
(JR君津駅前) 0439-55-2511

206 久留里支店 君津市久留里市場182 〒292-0421
(仲町通り) 0439-27-2511

店舗外キャッシュコーナー	
祝	アピタ君津店 店舗入口
祝	いなげや君津店 駐車場入口
	芙蓉会 JR上総松丘駅キャラの木ケアセンター前

佐倉市

298 うすい支店 佐倉市王子台1-28-8 〒285-0837
(京成臼井駅前) 043-462-1177

287 佐倉支店 佐倉市新町17 〒285-0023
(新町商店街通り) 043-484-2131

289 志津支店 佐倉市上志津1656-31 〒285-0846
(京成志津駅前通り) 043-487-1231

292 ユーカリが丘支店 佐倉市ユーカリが丘3-1-7 〒285-0858
(京成ユーカリが丘駅北口) 043-461-8111

店舗外キャッシュコーナー	
祝	いなげや佐倉店 駐車場内
祝	臼井駅北口 京成臼井駅北口ロータリー
祝	勝田台駅北口駅前 京成勝田台駅北口前
祝	佐倉市役所 市役所駐車場内
祝	JR佐倉駅南口 JR佐倉駅南口ロータリー
祝	聖隷佐倉市民病院 病院1階ロビー
祝	トイズ京成佐倉店 駐車場内
■	東邦大学佐倉病院 病院1階ロビー
祝	ユーカリが丘駅南口 スカイプラザステーションタワー2階
祝	レイクピアウスイ 京成臼井駅前イオン1階南側入口
祝	山万ビオトピア・プラザ 1階入口
祝	ヤオコー佐倉染井野店 七井戸公園隣り

山武市

261 成東支店 山武市津辺289-5 〒289-1345
(JR成東駅前通り) 0475-82-2511

店舗外キャッシュコーナー	
祝	オライはすめま 道の駅オライはすめまレストラン前
	山武市役所 市役所入口
祝	セイミヤ松尾店 駐車場内
祝	ラパーク成東店 店1階
祝	ランドローム山武店 店舗入口横

白井市

083 白井支店 白井市富士50-38 〒270-1432
(木下街道白井開拓バス停前) 047-444-8111

店舗外キャッシュコーナー	
祝	白井市役所 市役所隣

匝瑳市

263 八日市場支店 匝瑳市八日市場イ2470 〒289-2144
(西本町通り) 0479-72-1241

店舗外キャッシュコーナー	
	匝瑳市役所 市役所入口

袖ヶ浦市

215 袖ヶ浦支店 袖ヶ浦市福王台1-12-1 〒299-0261
(JR袖ヶ浦駅前福王台入口) 0438-62-8181

店舗外キャッシュコーナー	
	袖ヶ浦市役所 市役所入口横
祝	長浦駅前 JR長浦駅前通り

館山市

224 館山支店 館山市北条1823 〒294-0045
(銀座通り) 0470-22-4111

225 館山支店 館山市館山1026 〒294-0036
(下町十字路) 0470-22-2206

ネットワーク等のご案内

223 那古船形支店 館山市船形285-1 〒294-0056
(JR那古船形駅前県道十字路) 0470-27-3311

店舗外キャッシュコーナー
 祝 オドヤスーパーセンター館山店 入口横
 館山市役所 市役所正面入口横
 祝 イオンタウン館山 店1階

銚子市

266 銚子支店 銚子市新生町1-47-1 〒288-0056
(新生通り) 0479-22-2400

店舗外キャッシュコーナー
 祝 イオンモール銚子 専門店モール1階
 祝 銚子駅 JR銚子駅前
 銚子市役所 市役所1階

東金市

250 東金支店 東金市東岩崎15-1 〒283-0068
(JR東金駅東口) 0475-54-1151

店舗外キャッシュコーナー
 祝 浅井病院 駐車場入口
 城西国際大学 大学構内学生ホール前
 祝 東金サンピア 店2階
 東金市役所 市役所1階
 祝 東金レイクサイドヒル スーパーカワグチ隣

富里市

295 富里支店 富里市七栄651-96 〒286-0221
(富里市役所通り) 0476-93-9121

店舗外キャッシュコーナー
 富里市役所 市役所正面入口右側

流山市

079 江戸川台支店 流山市江戸川台西2-4-1 〒270-0115
(東武野田線江戸川台駅前) 04-7154-1411

126 流山おおたかの森支店 流山市市野谷665-40 〒270-0137
(東深井市野谷線沿い) 04-7158-2710

049 流山支店 流山市流山2-316-1 〒270-0164
(総武流山電鉄流山駅前県道沿い) 04-7158-2511

054 初石支店 流山市西初石3-1447-15 〒270-0121
(東武野田線初石駅前) 04-7153-2111

108 南流山支店 流山市南流山1-8-1 〒270-0163
(JR南流山駅前) 04-7150-2461

店舗外キャッシュコーナー
 祝 イトーヨーカドー流山店 総武流山電鉄平和台駅前店1階
 祝 コープ東深井 流山街道沿い
 祝 東武江戸川台駅東口 東武野田線江戸川台駅東口前
 祝 流山おおたかの森ショッピングセンター ショッピングセンター1階
 流山市役所 市役所1階ロビー
 祝 マルエツ初石店 東武野田線初石駅近くマルエツ隣

習志野市

ちばぎんひまわりラウンジ津田沼 習志野市奏の杜1-1-1 〒275-0028
(津田沼駅前支店ひまわり (ユザワヤ隣) ラウンジ津田沼出張所) 047-470-5011

016 津田沼支店 習志野市津田沼5-12-4 〒275-0016
(京成津田沼駅前) 047-452-2111

038 習志野袖ヶ浦支店 習志野市袖ヶ浦3-5-3 〒275-0021
(袖ヶ浦団地入口) 047-452-1261

078 実羽支店 習志野市実羽5-3-27 〒275-0002
(京成実羽駅前通り) 047-478-7171

成田市

店舗外キャッシュコーナー
 祝 イトーヨーカドー津田沼店 店2階
 祝 イトーヨーカドー東習志野店 店1階
 祝 奏の杜フォルテ 店1階
 祝 京成津田沼駅 京成津田沼駅改札前
 祝 JR津田沼駅 JR津田沼駅北口広場バス停前
 祝 津田沼南 ひまわりラウンジ津田沼内
 習志野市役所 市役所1階新館通路
 祝 マルエツ大久保駅前店 京成大久保駅前
 祝 谷津 京成谷津駅前

286 成田支店 成田市花崎町536 〒286-0033
(JR成田駅前通り) 0476-22-2511

300 成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004
(成田国際空港第2旅客ターミナルビル2階) 0476-33-1421

成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004
(成田国際空港第2旅客ターミナルビル3階) 0476-34-6065

成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004
(成田国際空港第2旅客ターミナルビル3階制限エリア内) 0476-34-6060

成田空港支店 成田市三里塚字御料牧場1-1 〒282-0011
(成田国際空港第1旅客ターミナルビル南ウイング1階) 0476-33-2930

290 成田西支店 成田市赤坂2-1-15 〒286-0017
(ボンベルタ百貨店隣) 0476-26-3531

店舗外キャッシュコーナー
 祝 イオン成田ショッピングセンター 専門店モール1階
 祝 下総支所 支所駐車場内
 祝 イオン成田店 店1階
 大栄支所 支所入口前
 祝 成田国際空港第1ターミナル南ウイング 第1ターミナルビル南ウイング4階
 祝 成田国際空港第2ターミナル 第2ターミナルビル1階
 成田市役所 市役所1階
 祝 成田ユアエルム 店1階
 祝 ボンベルタ 店4階
 祝 ヨークマート成田店 駐車場内

野田市

075 川間支店 野田市尾崎811-29 〒270-0235
(東武野田線川間駅前) 04-7129-6011

093 関宿支店 野田市東宝珠花545-2 〒270-0226
(いちいのホール入口バス停前) 04-7198-4411

009 野田支店 野田市野田350-11 〒278-0037
(仲町消防会館前) 04-7124-4111

店舗外キャッシュコーナー
 祝 いなげや野田みずき店 店舗内

■ … 貿易取扱店
■ … 外貨現金取扱店
■ … 一般店 (外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

■ 土曜日も稼働 (日・祝日は稼働いたしません)
■ 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

■	大殿井	電建住宅団地入口
■	清水公園	東武野田線清水公園駅前
■	イオンノア店	1階郵便局前
	関宿支所	支所前
	野田市役所	市役所1階
■	イオンタウン野田七光台	マックスパリュ隣

富津市

209	大佐和支店	富津市大堀1-1-2 〒293-0001 (富津支店内(店舗内店舗))	0439-87-1121
207	富津支店	富津市大堀1-1-2 〒293-0001 (JR青堀駅前通り)	0439-87-1121
211	湊支店	富津市湊212-1 〒299-1607 (湊町バス停前)	0439-67-0611
店舗外キャッシュコーナー			
■	大佐和	大貫岩瀬橋際	
	富津市役所	市役所1階当行派出隣	
■	イオンモール富津	店3階	
■	富津西部	東町商店街内	

船橋市

067	小室支店	船橋市小室町1157 〒270-1471 (北総鉄道小室駅前)	047-457-1111
027	高根台支店	船橋市高根台1-2-1 〒274-0065 (新京成高根公園駅前)	047-466-0121
030	津田沼駅前支店	船橋市前原西2-19-1 〒274-0825 (JR津田沼駅前)	047-472-6141
014	中山支店	船橋市本中山2-19-14 〒273-0035 (JR下総中山駅前十字路)	047-334-1145
037	習志野台支店	船橋市習志野台3-2-1 〒274-0063 (新京成北習志野駅前)	047-466-6151
029	西船橋支店	船橋市西船4-23-13 〒273-0031 (JR西船橋駅前)	047-434-3311
062	はざま支店	船橋市芝山3-10-7 〒274-0816 (芝山団地内)	047-464-6961
084	二和向台支店	船橋市二和東6-17-37 〒274-0805 (新京成二和向台駅前商店街)	047-449-1111
015	船橋支店	船橋市本町3-3-4 〒273-0005 (本町通り商店街)	047-422-4161
069	船橋支店 船橋市役所出張所	船橋市湊町2-10-25 〒273-0011 (船橋市役所1階)	047-436-2777
058	船橋北口支店	船橋市本町7-12-24 〒273-0005 (JR船橋北口駅前通り)	047-424-3151
	ちばぎんコンサルティング プラザ船橋 (船橋北口支店船橋プラザ出張所)	船橋市本町7-12-23 〒273-0005 (船橋北口支店横)	047-424-1931
096	薬円台支店	船橋市薬円台6-1-1 〒274-0077 (新京成薬円台駅ビル1階)	047-468-0311
店舗外キャッシュコーナー			
■	イケア船橋	店1階	
■	ウェルシア薬局船橋田喜野井店	店1階	

■	京成船橋駅西口	西口改札前
■	コープ薬円台	駐車場内
■	新京成北習志野駅	エキタきたなら2階
■	新京成習志野駅前	新京成習志野駅前スリーエフ隣
■	JR西船橋駅	JR西船橋駅構内武蔵野線通路
■	高根木戸駅前	新京成高根木戸駅前
■	滝不動	新京成滝不動駅前
■	東武新船橋駅	東武新船橋駅東口
■	東武百貨店船橋店	東武百貨店2階
■	原木中山駅前	東西線原木中山駅前サンクス隣
■	東船橋駅前	JR東船橋駅南口ロータリー角
■	船橋行田	行田団地商店街
	船橋市立医療センター	センター玄関隣
■	前原	新京成前原駅前
■	三咲駅	新京成三咲駅前
■	ヨークマート夏見台店	店1階
■	ららぽーと	ららぽーと内1階

松戸市

102	鎌ヶ谷支店 六美出張所	松戸市六美4-3-1 〒270-2204 (東武野田線六美駅バス停前)	047-386-1175
042	小金原支店	松戸市小金原6-1-1 〒270-0021 (小金原団地・小金原病院隣)	047-341-4115
101	五香支店	松戸市常盤平5-19-1 〒270-2261 (新京成五香駅西口ビル内)	047-384-2021
066	新松戸支店	松戸市新松戸1-361-2 〒270-0034 (JR新松戸駅前)	047-343-5101
053	高塚支店	松戸市高塚新田158-41 〒270-2222 (高塚入口バス停そば)	047-391-5221
031	常盤平支店	松戸市常盤平1-29-3 〒270-2261 (新京成常盤平駅ビル内)	047-388-1231
010	松戸支店	松戸市本町7-10 〒271-0091 (JR松戸駅西口)	047-364-2101
077	松戸支店 松戸市役所出張所	松戸市根本387-5 〒271-0077 (松戸市役所1階)	047-368-7621
056	松飛台支店	松戸市松飛台192-1 〒270-2214 (松飛台工業団地入口)	047-386-7111
039	馬橋支店	松戸市馬橋107 〒271-0051 (JR馬橋駅前)	047-341-2101
057	矢切支店	松戸市三矢小台3-2-1 〒271-0087 (上矢切バス停前)	047-365-2181
068	八柱支店	松戸市日暮1-3-1 〒270-2253 (新京成八柱駅・JR新八柱駅前)	047-385-3131
店舗外キャッシュコーナー			
■	北松戸駅前	JR北松戸駅東口駅前	
■	千葉大学園芸学部	緑風会館内	
■	八ヶ崎	あずまバス停前	
■	松戸市立病院	病院1階ロビー	
■	松戸東口	JR松戸駅東口前	
■	馬橋駅西口	馬橋駅西口マツモトキヨシ隣	

ネットワーク等のご案内

南房総市

226	白浜支店	南房総市白浜町白浜2696-1 〒295-0102 (白浜バス停前)	0470-38-4111
227	千倉支店	南房総市千倉町北朝夷2798 〒295-0011 (北千倉バス停前)	0470-44-1511
228	和田支店	南房総市和田町和田403-1 〒299-2704 (和田バス停前)	0470-47-3311

店舗外キャッシュコーナー

祝	朝夷行政センター	庁舎入口付近
	南房総市役所	駐車場内

茂原市

248	茂原支店	茂原市茂原365-1 〒297-0026 (茂原銀座通り)	0475-24-2111
252	茂原東支店	茂原市町保1-10 〒297-0022 (JR茂原駅前)	0475-24-6611
255	茂原南支店	茂原市千代田町2-3-2 〒297-0023 (JR茂原駅南口千代田通り)	0475-22-1855

店舗外キャッシュコーナー

祝	カインズホーム茂原店	国道128号沿い店入口
祝	イオン茂原店	駐車場側入口横
祝	ホームック茂原店	県道茂原線沿い店入口
祝	茂原市役所	市役所正面ロータリー横
祝	茂原ショッピングプラザ	ケーヨーD2入口横

八街市

288	八街支店	八街市八街ほ238-37 〒289-1115 (JR八街駅前通り)	043-443-2011
-----	------	--------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	古谷プラザ	駐車場内
祝	イオン八街店	1階入口前
	八街市役所	市役所駐車場内
祝	ランドマーク八街店	正面入口隣

八千代市

035	大和田支店	八千代市大和田297-20 〒276-0045 (京成大和田駅前通り)	047-484-8111
041	勝田台支店	八千代市勝田台2-4-3 〒276-0023 (京成勝田台駅前十字路)	047-483-1311
112	新八千代支店	八千代市ゆりのき台4-1-10 〒276-0042 (東葉高速鉄道八千代中央駅前)	047-486-6111
045	八千代支店	八千代市八千代台東1-1-10 〒276-0032 (ユアエルム八千代台店1階)	047-483-2211
048	八千代緑が丘支店	八千代市緑が丘1-1-1 〒276-0049 (東葉高速鉄道八千代緑が丘駅前)	047-450-1311

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオン八千代緑が丘ショッピングセンター	店1階駐車場脇
祝	イトーヨーカドー八千代店	店1階
祝	京成勝田台駅	駅地下通路売店街内
祝	高津	高津団地ショッピングセンター内
+	東京女子医科大学八千代医療センター	1階ロビー

	八千代市役所	市役所1階入口右
祝	八千代台ビル	ちばぎん証券八千代支店1階入口前
祝	八千代台駅西口	八千代台駅西口ロータリー前

四街道市

301	四街道支店	四街道市鹿渡2001-8 〒284-0003 (JR四街道駅前通り)	043-422-1511
135	四街道南支店	四街道市和良比247-1 〒284-0044 (JR四街道駅南口)	043-432-4840

店舗外キャッシュコーナー

祝	旭ヶ丘	旭ヶ丘商店街
祝	イトーヨーカドー四街道店	店1階
祝	MEGAドン・キホーテ四街道店	1階入口
祝	四街道市役所	市役所入口隣

安房郡

222	鋸南支店	安房郡鋸南町竜島847-1 〒299-2118 (JR安房勝山駅前通り)	0470-55-1611
-----	------	--	--------------

夷隅郡

246	大多喜支店	夷隅郡大多喜町桜台63 〒298-0213 (桜台三ツ角)	0470-82-3111
243	御宿支店	夷隅郡御宿町須賀505-6 〒299-5106 (JR御宿駅前通り交差点)	0470-68-2321

店舗外キャッシュコーナー

祝	おおたきショッピングプラザ	店1階
---	---------------	-----

印旛郡

293	安食支店	印旛郡栄町安食2170-20 〒270-1516 (「ナリタヤ安食店」敷地内)	0476-95-2111
297	酒々井支店	印旛郡酒々井町中央台1-29-7 〒285-0922 (JR酒々井駅西側)	043-496-1221

店舗外キャッシュコーナー

祝	酒々井プレミアムアウトレット	フードコート裏
	酒々井町役場	町役場駐車場入口隣

香取郡

284	神崎支店	香取郡神崎町神崎本宿2065 〒289-0221 (河岸通り)	0478-72-2331
281	笹川支店	香取郡東庄町笹川い679-3 〒289-0601 (東庄交番100m先)	0478-86-1125
264	多古支店	香取郡多古町多古2703 〒289-2241 (仲町商店街沿い)	0479-76-5111

店舗外キャッシュコーナー

	多古町役場	町役場正面入口前
--	-------	----------

山武郡

251	九十九里支店	山武郡九十九里町片貝3516-1 〒283-0104 (西の下)	0475-76-4171
262	横芝支店	山武郡横芝光町横芝1339 〒289-1732 (JR横芝駅前通り)	0479-82-1221

店舗外キャッシュコーナー

- … 貿易取扱店
- … 外貨現金取扱店
- … 一般店 (外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

- 土曜日も稼働 (日・祝日は稼働いたしません)
- 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

九十九里町役場	町役場入口
祝 サビア横芝	店1階
祝 芝山町役場	町役場入口
祝 横芝光町役場	役場庁舎前

長生郡

247	一宮支店	長生郡一宮町一宮2956-1 〒299-4301 (国道128号沿い(別称大通り))	0475-42-3611
-----	------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー			
祝	一宮町役場	町役場南側	

東京都

017	秋葉原支店	千代田区岩本町3-10-1 〒101-0032 (岩本町交差点)	03-3863-2151
-----	-------	-------------------------------------	--------------

	秋葉原支店 品川法人営業所出張所	品川区北品川1-8-12 〒140-0001 (アールビル4階)	03-5783-3911
(窓口・ATMの設置はございません)			

120	葛西支店	江戸川区中葛西5-34-13 〒134-0083 (東京メトロ東西線葛西駅前)	03-5675-4021
-----	------	--	--------------

024	金町支店	葛飾区金町6-2-1 〒125-0042 (ヴィナシス金町1階)	03-3607-4121
-----	------	-------------------------------------	--------------

032	錦糸町支店	墨田区江東橋2-13-7 〒130-0022 (国道14号沿い)	03-3633-7011
-----	-------	-------------------------------------	--------------

023	小岩支店	葛飾区新小岩1-53-10 〒124-0024 (朝日生命新小岩ビル2階)	03-5662-9481
-----	------	--	--------------

115	篠崎支店	江戸川区篠崎町7-27-23 〒133-0061 (都営新宿線篠崎駅前)	03-5243-1501
-----	------	---	--------------

020	新宿支店	新宿区西新宿2-4-1 〒163-0802 (新宿NSビル2階)	03-3344-1661
-----	------	-------------------------------------	--------------

123	千住支店	足立区千住1-4-1 〒120-0034 (東京芸術センター1階)	03-5284-1051
-----	------	--------------------------------------	--------------

018	東京営業部	中央区日本橋室町1-5-5 〒103-0022 (室町ちばぎん三井ビルディング(COREDO室町3)1・5階)	03-3270-8351
-----	-------	--	--------------

124	深川支店	江東区富岡2-1-9 〒135-0047 (永代通り沿いHF門前仲町ビルディング2階)	03-5639-2451
-----	------	--	--------------

107	みずえ支店	江戸川区南篠崎町2-10-7 〒133-0065 (都営新宿線瑞江駅前通り)	03-3698-8561
-----	-------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー			
祝	JR小岩駅南口	小岩駅南口サンロード沿い	
祝	都営地下鉄船堀駅	都営地下鉄新宿線船堀駅改札前	

大阪府

401	大阪支店	大阪市中央区淡路町3-6-3 〒541-0047 (NMプラザ御堂筋ビル10階)	06-6231-0321
-----	------	---	--------------

埼玉県

125	越谷レイクタウン支店	越谷市大成町5-401-1 〒343-0825 (JR越谷レイクタウン駅北口ロータリー)	048-961-2101
-----	------------	---	--------------

133	三郷中央支店	三郷市谷中409-1 〒341-0032 (つくばエクスプレス三郷中央駅北側)	048-953-8911
-----	--------	--	--------------

121	八潮駅前支店	八潮市大字大瀬780-1 〒340-0822 (つくばエクスプレス八潮駅前ロータリー)	048-994-4370
-----	--------	--	--------------

茨城県

128	神栖支店	神栖市神栖1-16-30 〒314-0143 (国道124号線沿い鹿島セントラルホテル向かい)	0299-95-5251
-----	------	--	--------------

136	つくば支店	つくば市研究学園5-17-3 〒305-0817 (イースつくば前)	029-858-4501
-----	-------	---------------------------------------	--------------

131	守谷支店	守谷市中央1-23-9 〒302-0115 (つくばエクスプレス守谷駅中央西口ロータリー前)	0297-46-1101
-----	------	---	--------------

海外支店

451	ニューヨーク支店	TEL: 1-212-354-7777 1133 Avenue of the Americas, 15th Floor, New York, N.Y. 10036, U.S.A.
-----	----------	---

452	香港支店	TEL: 852-2840-1222 Unit 2510, One Pacific Place, 88 Queensway, Hong Kong
-----	------	---

454	ロンドン支店	TEL: 44-20-7315-3111 3rd Floor, Regina House, 1 Queen Street, London EC4N 1SW, The United Kingdom
-----	--------	---

海外駐在員事務所

上海駐在員事務所	TEL: 86-21-62780482 中華人民共和国 上海市延安西路2201號 上海国際貿易中心 707室
----------	---

シンガポール駐在員事務所	TEL: 65-6438-4525 50 Raffles Place, #10-06 Singapore Land Tower, Singapore 048623
--------------	---

銀行代理店

銀行代理業者の原簿

本原簿については、銀行法第52条の60第1項及び同法施行規則第34条の64第1項の規定に基づくものです。
記

銀行代理業者の商号	東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 株式会社セブン銀行 代表取締役社長 二子石 謙輔		
銀行代理業の内容	(1) 預金又は定期積金等の受入れを内容とする契約の締結の代理又は媒介 (2) 資金の貸付け又は手形の割引を内容とする契約の締結の代理又は媒介 (3) 為替取引を内容とする契約の締結の代理又は媒介		
銀行代理業を営む 営業所の名称及び所在地	千葉県千葉市中央区川崎町52番地7 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー蘇我店出張所	東京都江戸川区東葛西九丁目3番地3号 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー葛西店出張所	東京都葛飾区亀有3丁目49番地3号 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー亀有店出張所
銀行代理業の開始年月日	平成18年5月17日	平成21年12月7日	平成23年2月1日

振込専用支店として「ひまわり第一支店」「ひまわり第二支店」があります。なお、振込専用支店は、窓口業務などの取扱いはございません。

ネットワーク等のご案内

主な手数料一覧 (平成26年6月30日現在)

ATM利用手数料

下記手数料には、消費税相当額が含まれています。

1) 当行ATM・CD

	0:00	8:00	8:45	9:00	14:00	17:00	18:00	19:00	21:00	23:00
当行カードによる 引出、振込、税金・各種料金払込	平日		108円		無料				108円	
	土曜・祝日				108円					
	日曜				108円					
提携カードによる引出、振込	平日		216円		108円				216円	
	土曜・日曜・祝日				216円					
	平日		216円		108円				216円	
ゆうちょ銀行カードによる引出	平日		216円		108円				216円	
	土曜		216円		108円				216円	
	日曜・祝日				216円					

*店舗によりご利用時間が異なります。*振込には別途振込手数料が必要となります。*引出にはカードローンの利用を含みます。
*常陽銀行、横浜銀行、東京都民銀行、武蔵野銀行、筑波銀行、山梨中央銀行、東邦銀行をご利用の場合の手数は、当行カードをご利用の場合と同一となります。

2) コンビニATM(E-net ATM・ローソンATM・セブン銀行ATM)

	0:00	8:45	18:00	19:00	24:00
当行カードによる 引出・預入・振込	平日	216円	108円		216円
	土曜・祝日			216円	
	日曜			216円	

*店舗によりご利用時間が異なります。また、一部ATMが設置されていない店舗があります。*日曜日の19:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日216円となります。*振込には別途振込手数料が必要となります。なお、当行キャッシュカードによる当行宛の振込はすべて当行本支店扱いとなります。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*法人カードによる預入はお取扱いしておりません。

3) ゆうちょ銀行ATM・CD

	0:00	0:30	8:45	18:00	19:00	23:30
当行カードによる引出	平日		216円	108円		216円
	土曜				216円	
	日曜・祝日				216円	

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜日・祝日の19:00～翌日8:00まではご利用いただけません。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。

4) ビューアルッテ(ビューカード)ATM

	0:05	8:45	18:00	19:00	23:55
当行カードによる引出	平日	216円	108円		216円
	土曜・祝日			216円	
	日曜			216円	

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜日の19:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日216円となります。*カードローンはご利用いただけません。

5) イオン銀行ATM

	0:00	8:00	8:45	9:00	17:00	18:00	21:00
当行カードによる引出	平日		216円		108円		216円
	土曜・日曜・祝日				216円		

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。

6) 横浜銀行・東京都民銀行・常陽銀行・武蔵野銀行・筑波銀行・山梨中央銀行・東邦銀行ATM

	0:00	8:00	8:45	9:00	17:00	18:00	21:00
当行カードによる引出・振込	平日		108円		無料		108円
	土曜・日曜・祝日				108円		

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*振込の際は、別途振込手数料がかかります。

振込手数料

(1件あたり)

利用区分		同一店宛	当行本支店宛	他行宛
窓口ご利用の場合	電信扱	3万円以上	432円	540円
		3万円未満	216円	324円
	文書扱	3万円以上	-	-
		3万円未満	-	-
ATMご利用の場合(キャッシュカード扱い)	電信扱	3万円以上	無料	216円
	3万円未満	無料	108円	216円
ATMご利用の場合(現金扱い)	電信扱	3万円以上	432円	432円
	3万円未満	216円	216円	432円
テレフォン banking、インターネット banking、モバイル banking(無人対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	無料
		3万円未満	無料	216円
テレフォン banking(オペレータ対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	216円
		3万円未満	無料	108円
エレクトロニック・banking(EB)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	324円
		1万円以上3万円未満	無料	108円
		1万円未満	無料	108円
		3万円未満	216円	324円
MT・FD ご利用の場合	電信扱	1万円以上3万円未満	108円	108円
		1万円未満	108円	108円
		3万円未満	108円	324円

*キャッシュカードによるATMでのお振込には、別途ATM利用手数料が必要となります。
*[E-net ATM][ローソンATM][セブン銀行ATM]での当行キャッシュカードによる当行宛のお振込は、すべて当行本支店扱いとなります。

定額自動送金手数料

(1) 取扱手数料

1回	54円
----	-----

*1回あたり手数料(消費税込)×送金回数にて算出します

(2) 振込手数料

	同一店宛	当行本支店宛	他行宛
3万円以上	216円	216円	648円
3万円未満	108円	108円	432円

金利選択型住宅ローン(ベストチョイス21)繰上返済等手数料

	変動金利期間中	固定金利期間中	固定金利期間終了時
一部繰上返済	5,400円	21,600円	5,400円
全額繰上返済	21,600円	32,400円	21,600円
条件変更(上記以外)	5,400円	5,400円	5,400円
金利選択時の手数料	5,400円 (変動金利から固定金利に変更する場合のみ)		

両替機利用カード年間手数料

1枚	年間15,552円
----	-----------

*新宿支店は上記と異なる手数料となります。
*両替機利用カードのご利用は1日あたり3回が上限となります。

両替機利用手数料(従量料金)

(1件あたり)

両替枚数	1~500枚	501枚以上
手数料	100円	200円 (500枚毎に100円を加算)

*キャッシュカードのご利用により1日1回100枚まで無料となります。
*両替機利用カードをご使用いただいた場合は、両替機利用手数料はかかりません。
*新宿支店は上記と異なる手数料となります。

窓口両替手数料

(1件あたり)

両替枚数	1~50枚	51~1,000枚	1,001~2,000枚	2,001枚以上
手数料	無料	324円	648円	972円 (1,000枚毎に324円を加算)

*お客さまがご持参された紙幣・硬貨の合計枚数とお持ち帰りになる紙幣・硬貨の合計枚数のいずれか多い方の枚数が対象となります。
*窓口での現金によるご預金のお引出しの際(集配金の際を含む)に金種をご指定される場合、ご指定の紙幣・硬貨の合計枚数に応じて、窓口での両替手数料と同額の手数料をお支払いいただけます。
*同一金種への交換(新券への交換、汚損した現金の交換等)、記念硬貨への交換及び記念硬貨からの交換は無料です。
*新宿支店は上記と異なる手数料となります。

手形・小切手帳発行手数料

一般当座小切手帳	1冊(50枚綴)	648円
約束手形帳・為替手形帳	1冊(50枚綴)	1,080円
ホームチェック	1冊(20枚綴)	324円
マル専約束手形	手形用紙(1枚)	540円
	取扱手数料(1契約)	3,240円

代金取立手数料

(1通あたり)

同一交換*	本支店払	324円
	他行払	324円
県外交換*	本支店払	648円
	他行払	756円
個別取立	本支店払	756円
	他行払(普通扱)	972円
	他行払(至急扱)	1,080円

*窓口等で即時入金する3日券扱いの手形・小切手の取立については無料です。

ICキャッシュカード発行手数料

ICキャッシュカード(単体型)*	1枚	発行時1,080円
ICキャッシュ/クレジット一体型 (スーパーカード一体型)		無料

*ポイントサービス「ひまわり宣言」による割引を実施しています。

貸金庫・セーフティーケース手数料

種類	高さ	平日のみご利用できるタイプ			365日ご利用できるタイプ
		1カ月払	6カ月払	6カ月払	
自動貸金庫	6cm以下	1,404円	8,208円	10,152円	
	6cm超8cm以下	1,620円	9,504円	11,448円	
	8cm超10cm以下	1,836円	10,800円	12,744円	
	10cm超12cm以下	2,052円	12,096円	14,040円	
	12cm超16cm以下	2,484円	14,688円	16,632円	
	16cm超20cm以下	2,916円	17,280円	19,224円	
本貸金庫		年額	7,560円~63,936円		
簡易貸金庫		年額	9,720円		
セーフティーケース		年額	6,480円		
簡易セーフティーケース		1個1回	1,620円		

*365日ご利用できるタイプの使用料支払方法は、6カ月払のみです。
*コンサルティングプラザに設置されている自動貸金庫の使用料は平日タイプのものとなります。

発行・再発行手数料

自己宛小切手発行手数料	1枚	540円	
残高証明書発行手数料	1通	継続発行分	432円
		随時発行分	756円
		お客さまご指定書式	1,620円
		監査法人向	3,240円
取引明細表発行手数料	依頼1件	540円	
再発行に関する手数料	通帳1冊	1,080円	
	キャッシュカード・ICキャッシュカード・ICローンカード・両替機利用カード・自動貸金庫ボックスカード	1,080円	

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111(代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成26年7月発行

